

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第八二號)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
(第八三號)
有鑛合成事業法案(政府提出)(第八三號)

會議

昭和十五年三月四日(月曜日)午後二時二十
六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君

理事澤田 利吉君

理事篠原 義政君

理事依光 好秋君

山本 厚三君

岡野 龍一君

小柳 牧衛君

長野 長廣君

井阪 豐光君

久山 知之君

川崎巳之太郎君

東條 貞君

瀧澤 七郎君

加藤 謙造君

長谷 長次君

三月二日委員石井德久治君辭任ニ付其ノ補
關トシテ川崎巳之太郎君ヲ議長ニ於テ選定
セリ

三月二日有鑛合成事業法案(政府提出)ノ審
査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

內務省土木局長 成田 一郎君

北海道廳長官 戶塚九一郎君

大藏政務次官 木村 正義君

陸軍主計大佐 森田 親三君

農林省山林局長 田中 長茂君

商工政務次官 加藤謙五郎君

商工參與官 喜多壯一郎君

商工省鑛產局長 小金 義昭君

商工省鐵鋼局長 塩谷狩野吉君

商工省化學局長 永田彦太郎君

商工省機械局長 鈴木 英雄君

電氣廳長官 平井出貞三君

鐵道省運輸局長 長崎惣之助君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)

砂鑛法中改正法律案(政府提出)

有鑛合成事業法案(政府提出)

○櫻井委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キ
マス、先ヅ一昨日本委員會ニ併託サレマシ
タ有鑛合成事業法案ニ付キマシテ政府ノ説
明ヲ求メマス——商工政務次官

○加藤政府委員 有鑛合成事業法案ノ立案
ノ根本趣旨ハ本會議ニ於テ申述ベテ置キマ
シタガ、茲ニハ本法律案ノ内容ニ付テ其ノ
大綱ヲ御説明申上ゲ、本法律案提案ノ理由ヲ
明ニ致シタイト考ヘマス、本法律案ハ内外ノ
諸情勢ニ鑑ミ、國防ノ整備並ニ産業ノ發達
ヲ圖ランガ爲ニ、本邦ニ於テ未ダ確立ヲ見
ルニ至ラザル有鑛合成事業ヲ本格的ニ確立
セントスルノ趣旨ニ基イテ立案致シタノデ
アリマス、有鑛合成事業ト申シマスノハ「カ
ーバイド」又ハ石炭ヲ原料トシ「アセチレ

ン」瓦斯又ハ水性瓦斯等ヨリ發足致シマシ
テ「合成ゴム」「合成トルオール」「メタノー
ル」「アセトン」各種重合樹脂等國防上産業
上重要ナル物資ヲ造成スル事業デアリマシテ、
其ノ範圍ハ極メテ廣汎多岐ニ涉ツテ居リ、
化學工業ノ一重要部門トシテ將來大ナル發
展ヲ期待セラレテ居ルノデアリマシテ、本
法案ハ斯業ノ確立ヲ圖ル爲メ、主要ナル有
鑛合成事業ヲ政府ノ許可ヲ受クベキ事業ト
爲シ、之ニ對シ適切有效ナル助成監督ヲ行
フコトヲ以テ其ノ骨子ト爲シタモノデアリ
マス、即チ本法案ニ於テハ第一ニ主要ナル
有鑛合成事業ハ之ヲ政府ノ許可ヲ受クベキ
事業ト致シタノデアリマシテ、許可ニ際シ
テハ需要供給ノ關係並ニ製造技術及ビ企業
能力ノ適否等ヲ考慮シ、無用ノ濫立競争ヲ
防止シ、以テ其ノ綜合的計畫ノ發達ヲ期
スル考デアリマス

尙有鑛合成事業ノ國防上並ニ産業上ニ於
ケル重要性ニ鑑ミマシテ、許可ヲ受ケ得ル
者ノ資格ヲ制限シ、企業ノ支配權ガ日本人
ノ手ニ在リト認メラルル會社ニ對シテノミ
事業ノ許可ヲ致スコトト致シタノデアリマ
ス

第二ニハ許可ヲ受ケタル會社ニ對シマシ
テハ、社債ノ募集ニ付、商法ノ特例ヲ設ケ
テ資金調達上ノ便益ヲ與ヘ、又必要ニ應ジ
土地收用ノ權利ヲ付與シ、尙其ノ事業ノ確
立ヲ妨グルノ虞アル物品ノ輸入ヲ制限シ、
又ハ之ニ對シ輸入税ノ増課ヲ爲ス等ノ助成

方策ヲ講ジ、更ニ國防上産業上特ニ重要ナ
ル有鑛合成事業會社ニ對シマシテハ、一定
ノ期間所得ニ對スル法人税、營業税其ノ他
ノ課税ヲ免除致シマスト共ニ、右ノ會社ガ
輸入致シマスル器具機械ニ付テモ一定期間
輸入税ヲ免除シテ其ノ負擔ヲ輕カラシメテ
居ルノデアリマス、加之重要有鑛合成品ノ
製造ヲ爲ス會社又ハ重要有鑛合成品ノ製造
ニ關スル試驗研究ヲ爲ス者ニ對シマシテハ、
必要ニ應ジ獎勵金ヲ交付スル等ノ方策ヲ採
リマシテ斯業ノ速ナル確立ヲ期シタ次第デ
アリマス

第三ニハ上述ノ如ク許可會社ニ對シテ保
護助成ヲ致シマスルト共ニ、之ニ對シ産業
上並ニ國防上適當ナル指導監督ヲ行フコト
ガ必要デアルト認メラレマスノデ、之ニ關
スル規定ヲ設ケタルデアリマス、即チ有鑛
合成事業會社ハ毎年事業計畫ヲ定メテ、之
ヲ政府ニ提出シ、又之ヲ變更セントスルト
キハ届出ヲ要スルモノトシ、尙ホ業務ノ
狀況其ノ他ニ關シテモ、常時諸般ノ監督ヲ
爲スコトト致シマシテ、之ニ依ツテ事業ノ
合理的且ツ健全ナル發達ヲ指導シテ行クコ
トト致シタノデアリマス、更ニ有鑛合成事
業會社ニ對シテハ、斯業ノ經濟上、將又軍
事上其ノ占ムル重要ナル位置ニ鑑ミマシテ
有鑛合成品ノ需給ノ圓滑並ニ價格ノ公正ヲ
圖ル爲、必要ナル命令ヲ爲シ、又公益上必
要アリト認ムルトキハ、其ノ設備ノ擴張若
クハ改良又ハ製造方法ノ變更ヲ命ジ得ルノ

權限ヲ政府ニ留保致シマスルト共ニ、有機合成品ニ關スル軍事上必要ナル事項ヲ政府ニ於テ命ジ得ルヤウ致シタノデアリマス

第四ニハ有機合成事業ノ重要性ニ鑑ミマシテ、學識經驗アル者及ビ官吏ヨリ成ル有機合成事業委員會ヲ設ケマシテ、本法ノ施行ニ關スル重要ナル事項ニ付テハ、之ヲ其ノ委員會ニ付議スルコトヲ致シタノデアリマス

最後ニ本法施行ノ際現ニ存スル有機合成品ノ製造事業者ニシテ、本法ノ適用ヲ受クベキモノニ關シマシテハ、特ニ是等ノ者ノ利益ヲ考慮致シマシテ、一定期間内ニ届出ヲ爲スコトニ依リ、其ノ當時ニ於テ營業ミツツアル事業ハ、本法ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做シ、新タニ許可ヲ要セズシテ之ヲ續行シ得ルコトト爲シタノデアリマス、以上ハ本法法律案ノ大要デアリマスガ、是ハ本邦有機合成事業ノ確立ヲ圖ル上ニ於テ極メテ緊要適切ナ施設デアルト考ヘルノデアリマス、何卒御審議アラムコトヲ希望致シマス

○櫻井委員長 是ヨリ鑛業法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、前會ニ引續キ質疑ヲ繼續スル順序デアリマスガ、此ノ場合政府ヨリ秘密會ノ要求ガアリマシタカラ、其ノ秘密會ヲ先ニ致シマシテ、秘密會ノ終ルト同時ニ前會ニ引續イデノ質疑ヲ繼續致シマス、政府委員以外ノ方ノ御退席ヲ願ヒマス

(午後二時三十四分秘密會ニ入ル)
(午後三時四十分秘密會ヲ終ル)

○櫻井委員長 是ニテ秘密會ヲ解キマス、是ヨリ質疑ニ入りマス——朴春琴君
○朴委員 私ハ鑛業法中改正法律案ニ關シ

マシテ主ニ大藏省ニ御尋シタイト思ツテ居リマシタノデスガ……

○櫻井委員長 一寸朴君ニ申上ゲマスガ大藏大臣モウ間モナク見エマス

○朴委員 ハア——是ハ直接大藏省ト商工省ノ密接ノ關係ガアルノデアリマスカラ、大藏大臣ニ後デ參リマシタラ具體的ニ承リタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り商工省ハ産金業者ニ對シテ多少認識ガ足ラナイノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ鑛業法中改正法律案ニ對シテハ、試掘トカ採掘トカ云フ問題ハ私ハ大シタ問題ヂヤナイト思フノデス、併シナガラ之ニ對シ内地ハ非常ニ重要性ヲ帶ビテ居ルカラト言ツテ、各方面カラヤカマシク言ハレテ居ルト云フコトヲ聽キマシタガ、結局試掘ガ採掘ニナルト云フ問題デ、是ハ主トシテ税金ノ關係ガ伴ツテ居ルノデヤナイカト思フノデス、要スルニ採掘ノ税金ハ試掘ノ税金ノ二倍デアル、ソレガ爲ニ各先輩議員ノ方々ガ、今度ノ鑛業法中改正法律案ニ對シテ反對シテ居ルノデヤナイカ、私ハ重點ハ其處ニアルノデヤナイカト思フ(反對デハナ「ト」呼フ者アリ)所ガ大分反對ガアル、ソコデ鑛業法ハ商工省ハ内地ノミヲ改正スルト云フヤウナ考デアリマスガ、内地ノ鑛業法ヲ改正スル御考デアリマスガ、第一ニソレヲ承リタイト思フノデアリマス

○小金政府委員 現行鑛業法ノ施行セラレル範圍内ノ改正デアリマス、即チ内地及ビ樺太ダケデゴザイマス

○朴委員 私ハモウ少シ商工省ニ考ヘテ貰ヒタイト云フノハ、此ノ改正ニ對シ外地ノコトモ私ハ考ヘル餘地ガアルノデヤナイカト思フ、是ハ局長サン、能ク知ツテ居ル通

リ、外地——所謂朝鮮トカ臺灣トカ云フ所ハ、此ノ鑛業法ヲ所謂法律デ定メテ居ル爲ニ、非常ニ鑛業ヲスル人ニハ不利益ナコトガダイニアルト思フノデアリマス、例ヘバ滿洲トカ支那トカト云フ所ハ別トシテ、我が領土ニナツテ居ル朝鮮ニ於テ、或ハ臺灣ニ於テモ、御承知ノ通り墓地ニ付テハ祖先崇拜ノ念ガ強イ爲ニ非常ニ朝鮮ノ方々ガ大切ニスルコトハヨイ、併シ是ガ爲ニ、法律上デハ鑛區ト墓地ノ距離ト云フモノガ非常ニ長イ、ソレガ爲ニ現在マデ捨テ置イタ墓地ニ對シテ鑛區暴害ノ意味ヲ持ツテ故意ニ法律ヲ楯ニトルタメ、非常ニ鑛山ノ關係ガウルサクナツテ來マスタメ、現在鑛業ヲヤツテ居ル人ガ大分困ツテ居ル、ダカラ是等モ考ヘマシテ、内地ノ通ジテ改正スル餘地ガアルンデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、是ハ朝鮮總督府ノ權限ニ依ツテ鑛業法ヲ施行スルコトニナリマスカドウカ、ソレヲ局長サンニ承リタイト思フノデアリマス

○小金政府委員 朝鮮ハ恐ラク制令デ内地ノ鑛業法ノ内容ガ定メラレテ居ルト存ジマス、隨ヒマシテ朝鮮總督府ガ内閣ト御相談ニナツテ、其ノ制令ノ改正ヲナサルコトト思ヒマスカラ、内閣ニハ相談ガアルコトト思ヒマス

○朴委員 ソレカラモウ一ツハ此ノ産金ノ獎勵ニ於テ今度商工省ガ大藏省ト打合セテ立テタ増産金割増制度デスガ、是ハ一體局長サン、アナタハ十分分ツテ居ルノデスカ、私ハ恐ラク局長サンモ專門家デハアルガ能ク分ラナイノデヤナイカト思フ、字デ讀メバ是ハ大體分ルト云フ人ガアリマスケレドモ、聞ク所ニ依ルト、是ハ作ツタ其ノ人ガ

分ラスト云フコトデアル、朝鮮ノ所謂專門家アクリデモ今度ノ割増金制度ト云フモノハ、是ハドンナモノカト云フテキル、實際自分達モ分ラヌ、作ツタ當局ガ分ラスト云フコトニナルト、寧ロ吾々ハ最モ分ラヌ譯デアル、是ハ局長サン、一體アナタハ能ク分ツテ居リマスカドウカ、ソレトモ是ハ大藏省カラ威カサレテ、コンナ詰ラスコトヲ承認シタノデアリマスガ、一遍説明ヲ聽キタイト思ヒマス

○小金政府委員 昨年ノ十一月公布セラレタ産金量届出規則、是ガ商工省令デ、基準産金量ヲ届出デラコトニナツテ居リマス、又同時ニ出マシタ大藏省令ノ増産金買上規則ト云フノガアリマス、恐ラク此ノ増産金買上規則ノコトダト思ヒマス、中々一見致シマシタノデハ了解シニクイ所ガアルト存ジマスガ、私ハ是ハ分リマス、職掌柄宛ニ角分ツテ居リマス、唯實際之ヲ目當ニ金ノ増産ヲセラレヨウトナサル方ニハ相當不便ダラウト云フコトモ承知致シテ居リマス、併シナガラ是ハ何トカシテ産金業者ニ金ノ新ナル増産ヲシタ場合ニ援助シタイト云フ心構ヘカラ、私共贊成致シマシタノデ、是ガ無イヨリモマダ宜イト云フノデ贊成致シマシタ、併シナガラ是デハ極メテ不十分デアルト存ジマスカラ、只今御指摘ニナリマシタ増産金買上規則ト産金量届出規則、共ニ是ハ何トカ致シタイト思ツテ居リマス、既ニ商工省令ノ産金量届出規則ノ方ハ改正致シマシタ、特別ニ十三年ヲ基準ト致シマスルケレドモ、特ニ十三年ニ努力ヲシテ出シタ山ノ基準産金量ト云フモノニ付テハ、商工大臣ガ査定出來ルト云フ風ナ建前ニ改正致シマシタ、大藏省令ノ方ニ付キマシテハ、

大藏省ト今相談シテ、何トカ簡易化シテ、モット早イ效果ヲ上ゲタイト考ヘテ居リマ

ス
○櫻井委員長 朴君一寸御諒解ヲ願ヒマス
ガ、或ハ外地ニ互ル意味ノ御質疑モアルト
思ヒマスルガ、サウスレバ朝鮮ノ政府委員
モ御出席ヲ願ツタラドウカ、ソレカラ大藏
大臣モ間モナク見エマスガ、ソレニ先ンジ
マシテ長谷君ガ厚生省ノ政府委員ヲ要求サ
レテ居リマシテ、ソレガ見エタノデスガ、
厚生省ノ政府委員ガ急ガレルノデ、長谷君
ニ一寸暫クノ間質疑ヲ御譲リヲ願ヒタイト
思フノデスガ、ドウゾ御諒解ヲ願ヒマス――
長谷長次君

○長谷委員 是ハ厚生省當局バカリノ問題
デハナクテ、主タル官廳ト致シマシテハ、内
務省ノ土木局、或ハ農林省ノ林野局、或ハ
水産局、此ノ各官衙ニ共通シタ所ノ質問デ
アリマス、左様ニ御聴取リヲ願ヒタイト思
ツテ居リマス

此ノ重大ナル時局ニ當リマシテ、鑛產資
源ノ急速ナル開發ト云フモノハ、モウ缺ク
ベカラザル所ノ事態ニナツテ參リマシタ
ガ、今回提出セラレマシタ鑛業法中改正法
律案ノ骨子トスル所ハ、全ク日本ノ持ッ
所ノ鑛產物ノイザト云フ時ノ開發狀態ノ直
前マデ進メタ鑛業分布圖ヲ作ラントスル基
本法デアリマス、カルガ故ニ之ヲ作ル上ニ
於テ、吾々ノ一番念頭ニ置カレテ居ル問題
ハ、商工省ノ隸下ニ立ツテ居リマスル所ノ
官廳ト致シマシテハ、鑛山監督局、ソレカ
ラ現在吾々ノ手ノ中ニアリマスルモノハ産
金振興會社、昨年出來マシタ所ノ帝國鑛業
開發株式會社、是等ノモノガアルノデアリ
マス、其ノ外ノモノハ皆民間側ガ之ニ裏表

ノ協力ヲシテ一意鑛業開發ニ從事致シテ居
ルノデアリマスガ、何時モ問題ニナツテ居
ル矢先ニ當リマシテ、今回特ニ改正法律案
ノ中三十三條第二項ヲ削リ、試掘ノ期限ト
云フモノヲ四ヶ年ニ延長致シマシタ、反面
ニ於キマシテ從來取扱ヒマシタ所ノ二年毎
ニ更新スルト云フ制度ヲヤメテシマヒマシ
タ、言葉ヲ換ヘテ申上ゲマス、モウ四年
經ツタラ其ノ試掘權ヲ棄テルカ、サモナケ
レバ採掘權ニ改メテ採掘ニ掛ルカ、此ノ二
ツノ途以外ニハナイノデアリマス、此ノ期
限附條件ノ下ニ尙且ツ國家ガ急速ニ其ノ鑛
產物ノ分布ヲ決定シナケレバナラヌ立場ニ
ナツテ居ルコトハ、先程秘密ノ會合ノ席上
ニ於テ厚生政務次官モ承ラレタル如ク、日
本ハ極メテ急需ノ立場ニ立ツテ居ルノデア
リマス、所ガイザ仕事ヲ致シテ參リマスル
ト云フト、不幸ナコトニハ殆ド重要鑛物ト
云フモノノ存在ハ、御手許ニ管理セラレテ
居ル所ノ國立公園ノ分野ノ中ニアルノデア
リマス、道路一本造ル、試掘ヲヤツテ見ル、
調査ヲヤツテ見ル、或ハ其ノ中ニ在ル所ノ
資材等ヲ利用スル、是等ノ點ニ於キマシテ、
悉ク支障ガ起ルノデアリマス、要ラヌ所ニ
鐵道ヲ付ケテ持ツテ行カナケレバナラス
カ、眼ノ前ニズリ、ボタ等ヲ置ケバ宜シイ
ニ、國立公園地帶ナルガ故ニソレガ邪魔ニ
ナル、恐ラク斯様ナコトデアリマシテ、到
底四年間ニ於キマシテ所期ノ目的ヲ達スル
爲ニハ、茲ニ一ツノ大キナ國立公園ト云フ
モノノ「トラブル」ガアリマスガ爲ニ、私ハ
今厚生省ノ御意見ヲ聊カ御尋申上ゲテ見タ
イノデアリマス

第一點ハ厚生省トシテ事前ニ商工省ト御
連絡ヲ取ラレマシテ、斯カル場合ノ發生セ
コトヲ豫知セラレマシテ、何等カノ申合セ
ヲオ作りニナル所ノ御意思ガアルカドウ
カ、第二點ハ其ノ申合セヲ爲サレタコトガ
直チニ實行セラレテ、下級官廳ノ手ニ入リ
マシテ、下級官廳ガ其ノ現場々々ニ於ケル
所ノ一切ノ鑛業開發ニ對シテ支障ノナイヤ
ウナ指令ヲ發セラレル必要ガアリハシナイ
カ、此ノ點ニ對スル所ノ御意見ト、第三點
ハ是ハ少シ説明ヲ要スルノデアリマス、御
承知ノ通りニ先程陸軍側ノ御意見ヲ承リマ
シタラ、マダ其ノ内容等ハ私ニハ分リマセ
ヌガ、後カラ商工省ニ御尋ヲ致シマス、厚
生政務次官ハ御聴キ及ビデアツタと思フ
ガ、砂鑛ニ關スル限り――此處デ言ウテハ
イカスカモ知レマセヌガ――要塞地帶ノ開
放ト云フコトガアリマシタガ、其ノ點ニ關
シマシテ、厚生省ハ此ノ重大ナル時局ニア
リマシテハ、出來得ル限り國立公園地帶ト
シテノ特殊性ヲ傷ケナイ範圍ト云フコトヲ
制限條件ニ致シマシテ、國立公園ヲ開放セ
ラルル意思ハナカラウカ、此ノ點デアリマ
ス、其ノ次ハ法律ノ立テ方カラ來ルノデア
リマスルガ、試掘權ノ四年ト云フモノガア
リマス、試掘權ニ於キマシテ、色々調査研
究ダケヲ御許シ願ヘルト致シマシタラ、其
ノ調査研究ヲシタモノガ、殘念ナガラ個人
トシテハ採掘スルコトガ出來ナイト云フ條
件ノ下ニ置カレマス、併シ一旦緩急アツタ
場合ニ於キマシテハ、國立公園ガ開放セラ
レタル場合ニ於テ、其ノ前者ノ苦勞ト云フ
モノヲ是非トモ認メルト云フ所ノ申合セヲ
商工、厚生兩省ニ於テ致シテ貰ヒタイノデ
アリマスルケレドモ、此ノ點ニ對スル所見如何
ト云フ問題デアリマス、是ダケ一應承ツテ置
キマスルガ、是ハ私カラ説明スルマデモナ

ク、臺灣ニモ二ツ國立公園ノ施行地帶ガア
ルノデアリマス、是ガモウ全部金ノ巢窟ナノ
デアリマス、此ノ中央山脈ノ金ノ巢窟ガ全部
國立公園ニナツテ居リマス、北海道ノ如キ
ハ、阿寒國立公園ハ殆ド北海道ノ重大ナル
地點ヲ全部包含シテ居ルノデアリマス、ソ
コニ多クノ埋藏物ノアルト云フコトハ説明
スルマデモナイノデアリマス、左様ナ譯デ、
此ノ點ニ關聯致シマシテハ忌憚ノナイ御意
見ヲ承リ、今後日本ノ鑛產開發ニ對シテ厚
生省ハ虚心坦懷ニ一ツ商工省ニ御協力願フ
ト同時ニ、下級官廳ニ對シマシテハ文書其
ノ他ノ點ニ關聯致シマシテ、日時ガ徒ニ延
遷致サレナイヤウニ、十分御指示ガ徹底ス
ルヤウナ取扱ヲ願ヒタイト思フ立場カラ御
尋ヲ致シマシタ

○松政府委員 只今長谷君ノ御尋ニ對シ
マシテ私ノ承知シテ居ル點ダケヲ御答シマ
シテ、尙ホ詳細ノ點ハ他ノ政府委員カラ御
答ヲ願フコトニ致シマス、御承知ノ通り國
立公園ハ優秀ナル國土保存ノ必要カラ制定
サレタ法律デアリマシテ、ソレガ爲ニ一私
人ノ所有權ヲ制限スルコトノアルハ是ハ
已ムヲ得ナイコトデアリマス、併シナガラ
今御高調ニ相成リマシタヤウニ、今日ノ時
局柄、而モ鑛產資源ノ問題ガ緊迫致シテ居
リマスル我國ニ於キマシテ、其ノ貴重ナル
鑛物ヲ開發スル必要上、國立公園ニ對シテ
幾多ノ制限ノアルノヲ開放シナケレバナラ
ナイト云フコトノ問題ハ、當然起リ得ベキ
問題デアルノデゴザイマスガ、サウ云フヤ
ウナ特殊ナ事情ノアリマスル場合ニハ、御
承知ノ如ク此ノ國立公園ノ第八條ノ第二項
ノ第三ニハ、鑛物ノ試掘若クハ採掘、砂鑛
ノ採取、又ハ土砂ノ採掘ト云フヤウナコト

が必要アリマスル時ニハ、此ノ第八條ノ規定ニ依リマシテ、主務大臣ノ許可ヲ願ヘバ、主務大臣ハ之ニ許可ヲ與ヘルコトノ出來ル規定ガ制定セラレテ居ルコトハ、アナタノ御承知ノ通りデアリマス、故ニ其ノ必要ノアル場合ニ於キマシテハ、相當ノ手續ニ依ツテ主務官廳ニ出願ニナリマスレバ、主務官廳ハソレヲ調査致シマシテ、國立公園ノ法規ニ依ツテ、私人ノ權利ヲ制限シテ居ルコトト、時局下ニ於ケル鑛物資源ノ開發トノ利害關係ヲ比較研究ヲ致シマシテ、是ガ國家ノ爲ニ必要デアルト云フヤウナ場合ニハ、特ニ此ノ八條ノ規定ニ依ツテ許可セラレベキモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、又サウ云フ場合ニ於キマシテハ、勿論他ノ官廳デアリマスル商工省トモ申合セテ致シマシテ——申合セト云フコトハ語弊ガアルデアリマセウガ、互ニ調査研究ヲシテ、是ハ必要デアルカラ許可シタ方ガ宜シイト云フコトニナレバ、オ互協調ヲ保ツテ國家ノ爲ニ善處スルト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ノコトニ對シマシテハ、國立公園法施行令ノ第十六條ニモ其ノ規定ガアルノデアリマス、即チ國立公園法第八條ノ行爲ヲ行政廳ニ於テ爲サントスルトキハ厚生大臣ニ協議ヲ爲スベシト云フコトガアリマスルカラ、主務官廳デアリマス商工省ニ於キマシテハ厚生省ニ向ツテ定メシ御協議ガアルコトト思フ、其ノ御協議ガアリマシタ時ニハ、厚生省ハ、是ハ國立公園トシテ國土ノ保存上之ヲ開發セシメナイノガ宜イノデア

ルカ、或ハ時局柄ハ鑛產資源ノ開發上許可スルノガ宜イノデアルト云フコトニ對シテハ、深甚ノ考慮ヲ拂ヒマシテ、サウシテ適當ナル處置ヲ採ルコトガ至當デアラウト考ヘルノデアリマス、今御質問ニアリマシタ四ツノ項目ハ、今御答致シマシタ中デ大概御諒解願ヘタコトデアラウト思ヒマスガ、マダ御不審ノ點ガアリマスレバ繼續シテ御尋ヲ願ヒタイノデアリマス

○長谷委員 今ノ厚生政務次官カラノ御答辯ハ、ソレハ紙ノ上ノ御答辯ナノデアリマス、紋切型ノ御答辯デアリマシテ、實際ハサウ云フモノデアリマセウ、最モ嚴重ナ解釋ヲ付ケマシテ下級官廳ヘ指令致シマシテモ、事務澁滞ト云フノガ現状デアリマス、ソレデ今日此ノ場合ニ於キマシテ、一番強調セラレナレバナラス所ノ重要鑛物ノ開發ニ對シマシテ、今御指摘ニナリマシタ所ノ法條ノアルコトハ承知致シテ居リマス、所ガ念ノ爲ニ申上ゲマスルガ、四箇年ノ試掘期限ト云フモノヲ付ケラレテ居ル、其ノ他ニ厚生省ナリ、或ハ内務省ナリ、或ハ農林省ノ制限ヲ極端ニ受ケテ居ルノデアリマス、事實ハ不能ノ狀態ニ入ツテ居リマス、私ハ此ノ狀態ヲ明快ニ解決セラレタイコトヲ希望致シマシテ、先程ノ質問ヲ致シマシタ、更ニ御答ヲ最後ニ求メタイ、ソレハ今申上ゲマシタ四點ニ對シマシテ、少クトモ具體的ニ指令ヲ與ヘテ戴イタラ——是ハ親切ト云フ意味デアリマス、下級官廳ニ對スル所ノ親切ト云フ意味デアリマス、其ノ親切ト云フ意味デ斯様ナ申合セ事項ガ第八條ニ則ツテ出來上ツタカラ、懇切丁寧ニ、時局ニ對シテ十二分ノ理解ヲ以テ之ニ處シテヤレト云フコトヲ——例ヘテ申上ゲマシタナラバ北海道ナラバ拓務部長ニ宛テテ、アナタノ方カラ御出シニナリマシタナラバ、其ノ下級官吏ハ必ズヤ此ノ時局ニ對シマシ

テ十分ノ働きヲシテ呉レルコトヲ確信致シマス、是ハ親切ノ上ニモ親切ヲ盡シ、努力ノ上ニモ努力ヲ盡シテ、官吏道ノ今日ノ立場ト云フモノハ非常ニ民間側ニ對シマシテ不利益ナ條件ニナツテ居ルノデアリマス、ソコヲ私申上ゲタノデアリマス、モウ一遍賢明ナル所ノ厚生政務次官ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○櫻井委員長 一寸厚生政務次官ニ申上ゲマスガ、此ノ時局ニ對シテ重要鑛物ノ開發ニ付テ厚生省ノ方針ガドウナツテ居ルカ、其ノ全般ノ方針ヲ聽カレルコトト思フノデアリマス、個々ノ場合ニ對シテ法律解釋ニ依ツテ許スベキモノハ許スト云フコトハ當然ナ話デアル、所ガサウ云フ質問ノ意味デナクテ、例ヘバ今マデハ要塞地帶ト云フモノハ絕對ニサウ云フコトヲ許サレナカツタモノガ、先程此處デ要塞地帶デモ時局ノ急需性ニ應ジテ或ル部分ハ開放スルト云フ答辯ノアツタ矢先デアリマス、隨テ厚生省モサウ云フ時局ト離レタ超然トシタ法律解釋デナシニ、積極的ニ出來ルガケ國立公園デアツテモ、重要ナ鑛物ノアル所ハ開放シテ行クト云フ一ツノ方針ヲ立テラレル必要ガアルデアラウト思フノデアリマス、其ノ方針ヲ聽イテ居ルノデアリマス、ト云フノハ例ヘバ北海道ノ石炭ヲ掘出ス爲ニ非常ナ努力ヲ要スル、山東ニ行ツテ交渉シテ五千人トカ幾ラトカノ坑夫ヲ纏メタ、喜ンデ向フハ來ル、所ガソレハ厚生省デ反對サレテ入ルコトガ出來ナカツタト云フ非常ニ憤慨シテ居ラレタノヲ私ハ聽イタコトガアル、是ハ説明スレバモツト長クナリマスカラ此ノ程度ニシマスガ、ドウシテモ計畫經濟ハ綜合性デナケレバナラス、政府ノ方針ガ一體ニ出テ來ナケレバナラスと思ヒマス、今商工省カラ聽ク所竝ニ軍カラ聽ク所、又厚生省ノ話デ伺フ所ハ同ジ政府カラ出タ方針

究ノ結果明確ニナリマシタ時ニハ、厚生省ト致シマシテハ勿論アナタノ御主張ニナルヤウナ手續ヲ執リマスルコトニ付デハ、少シモ異存ガナイノデアリマスルカラ、左様御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス

○松政府委員 私ノ答辯ガ少シク抽象的ニ流レタカモ分リマセウガ、私ハ只今長谷君ノ御質問ニ相成リマシタコトニハ全然御同感デアリマス、サウ云フヤウナ御趣旨ノ出願ガアリマシテ、而シテハ鑛山資源ノ開發或ハ國立公園法ノ制限ヲ緩和スル必要ガアルト云フコトヲ調査研究ノ結果、明ニ認メマシタ時ニハ勿論今アナタノ仰セニナリマシタヤウナ趣旨ニ即應致シマシテ、下級官廳ニハ懇切丁寧ニ其ノ點ニ付テ調査ヲシテ萬遺憾ナキヲ期スベシト指揮致シマスコトハ勿論當然ナコトデアリマスガ、唯抽象的ニ斯ウ云フ出願ガアツタナラバ丁寧親切ニヤレト云フコトヲ概括的ニ示シテ置クト云フコトハ、一々具體的ノ事實ガ明カニナツタ時デナイト出來ナイト私ハ思フデアリマスガ、唯一般的ニ民衆カラ色々ナ出願ガアツタトカ云フヤウナ場合ニ懇切丁寧ニヤレト云フヤウナコトハ、是ハモウ極リ切ツタコトデアリマシテ、今長谷委員ノ御質問ハサウ云フ意味デナクテ、何カ民間カラサウ云フ出願ガアツタ時分ニハ、懇切丁寧ニヤレト云フ趣旨デアツタヤウデアリマスカラ、サウ云フヤウナ具體的ニ斯ウ云フ國立公園ノ區域内ニ鑛山資源ガ埋沒シテ居ル、之ヲ開發スルコトガ最モ時局ニ副ウタヤリ方デアルト云フヤウナコトガ、調査研

ノヤウナ感じガシナイ、マダ方針ガ決ツテ居ラヌナラバ改メテ省デ御協議ノ上ニ省ノ方針ヲ明日デモ明ニセラレル方ガ宜カラウト思フ、兎ニ角質問ノ要旨ハドウ積極的ノ方針ヲ執ラレルカ、其ノ點ニアルト思ヒマスカラ其ノ意味ニ於テ御答ヲ願ヒタイ

○一松政府委員 其ノ點ハ私カラ御答スルノハドウカト思ヒマス、實ハ大臣カラデモ御答スルコトノ方ガ御質問者ノ御意思ニ對シマシテ敬意ヲ表スル次第デアラウト思フノデアリマスガ、只今委員長カラ御親切ナル御注意モアツタノデアリマスカラ、大體ダケノ御答ヲ申上ゲテ置キマシテ、尙ホ詳細ニ互ル點ハ更ニ大臣ニ能ク御協議ヲ申上ゲタ上デ、適當ナ時期ニ御答スルコトニ致シマスルガ、勿論此ノ時局ニ副ヒマシテ礦物資源ノ開發ノ最モ必要デアリ、而モ時局ニ副ウタ最モ必要ナル國家ノ仕事デアルト言ヒマス時ニハ、國立公園法ノ制限ト云フコトニ比較致シマシテ、是ハ國家ノ大所高所カラ考ヘマシテ大切ナコトデアラウト思フノデアリマスカラ、勿論サウ云フ時分ニハ厚生省トシテモ積極的ニ許可若クハ緩和ト云フコトニ出ナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、成タケ御希望ニ副フヤウニ致シタイト斯様ニ私ハ考ヘテ居リマスガ、事柄ガ少シク大キイヤウデアリマスカラ、更ニ大臣トモ能ク打合せマシテ、適當ノ時期ニ御答ヲ致シマス、斯ウ云フヤウニ御承知ヲ願ヒマス

○佐々木政府委員 大方針ニ付キマシテハ只今政務次官カラ申上ゲマシタノデアリマスガ、色々ト質問ヲ伺ツテ居リマス、出願ヲシタヤウナ場合ニ事務ガ非常ニ停滯スルヤウダト云フヤウナ意味ノ御話モアツタ

ノデアリマスガ、其ノ點モ吾々當局トシテ十分注意ヲ致シテ居リマス、商工省等カラ協議ガアリマシタラ、或ハコチカラ其ノ協議ニ應ジ、又協議ヲ仕掛ケルト云フヤウナ工合ニヤツテ居ツタノデアリマスガ、段サウ云ツタヤウナ非難、希望等モ聞キマスルノデ、今事務上ノコトニ付テ全般的ニ地方廳ニ委任ヲシタ方ガ宜イデヤナイカ、其ノ委任ノ範圍等ニ付キマシテ目下研究ヲシテ居リマス、又職員等モ充實ヲ致シテ居リマシテ、其ノ充實ガ出來マシタナラバ、相當程度ノ委任ガ出來ルノデハナイカト云フヤウナコトモ現在思ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ色々ト各方面ノ御希望モアリマスルノデ、當方デ研究ヲシテ居リマスコトヲ十分下級官廳ノ方ニ徹底サセル意味ニ於キマシテ、地方廳ニ於キマス職員ヲ恐ラク今月ノ末頃カト思ヒマシタガ招集シテ十分指示スル豫定ニナツテ居リマス、此ノ點ヲ申上ゲテ置キマス

○長谷委員 勿論厚生省ニ求メル私ノ希望ハ今日デサヘモ非常ニ「トラブル」ニナツテ居ルノニ、更ニ進ンデ異常ナ制限ヲ今度與ヘラレタ、其ノ上ニ他官廳ガ、非常ナ制限ヲ加ヘテ居ル、此ノ全部ノ事情ガ一本建テニナリマシテ、急速ニ書類ノ手續ハ勿論ノコト、資料ノ配給カラ開發ニ至ルマデ全部一本建テニナラスコトニハ、四年間ノ試掘ノ年限ノ間ニ於テモ試掘ハ不可能デス、又急需ト云フ二字ニ關聯致シマシテハ、最モ不可能デアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ他官廳ガ全部御協議、打合せノ上ニ、何等カノ急速ナル開發ニ對スル對策ヲ執ツテ貰ヒタイコトガ僕ノ最後ノ希望ナノデアリマス、此ノ希望ヲ骨子ト致シマシテ、又改メテ厚生省當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、今日ハ有難ウゴザイマシタ

○一松政府委員 只今ノ長谷君ノ御希望御尤モデアリマスガ、主トシテ國立公園法ト礦山資源ノ開發ト云フコトト牽聯シタ御質問ニ極限シテノコトト思ヒマシテ、厚生省ノ立場カラ御答致シマスルガ、勿論アナタノ御希望ノ通り總テ斯ウ云フ時局ニ於テハ事務ヲ促進シテ成タケ國家ノ利益ニナルヤウニ仕事ヲシナケレバナラスト云フコトハ申サマデモナイコトデアリマス、御承知ノ通りニ國立公園法ニ色々ナ制限ガアリ、礦業法中改正法律案ノ提案サレタモノノ中ニモ御承知ノ要塞地帯ニ關スル色々ナ法案ガアリマシテ、商工省ダケドウト云フコトモ出來マセヌシ、各關係廳トモ成タケ協議ヲ促進致シマシテ出來得ル限り時局ニ副フヤウニ仕事ヲシタイ、左様ニ考ヘテ居リマス、何レソレ等ノ點ニ關シマシテハ、成タケ急速ニ關係官廳トノ協議モ進メテ御期待ニ副フヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○東條委員 一寸關聯シテ伺ヒマス、今長谷君カラ御質疑ニナリマシタ阿寒國立公園地帯ニ於キマシテハ、懺力道廳當局ガ詰リ厚生省關係ノ方ガ立會ハレテ大體此ノ區域ハ許ス、此ノ區域ハ許サスト云フ御調ガ出來テ居ルト承知シテ居リマスガ、サウ云フコトハナイノデアリマスカ

○一松政府委員 只今ノ御尋ニ對シマシテハ他ノ政府委員カラ御答ヲ申上ゲマス

○佐々木政府委員 御話ノヤウニ協議ヲ致シマシテ現在ノ所デ大體出來掛ツテ居リマス

○東條委員 サウスルトマダ御決定ニナツテ居ナイノデスカ

○佐々木政府委員 マダ決定致シテ居リマセヌ

○東條委員 ソレデハ商工省ノ方ニ御伺フシタイト思ヒマスガ、私共大體斯ウ云フ風ナ區域ニ於テハ許ス、此ノ區域ハ許サスト云フヤウニ大體決定シタモノト承知シテ居ツタノデアリマスガ、マダ御決定ニナツテ居ナイノデアリマスガ、ソレヲ拜見致シマスルト、平タク言ヘバ厚生省ノ力ガ非常ニ強クテ大分廣イ區域ニ互ツテ居ルヤウニ私共承知スルノデアリマスガ、斯様ナコトデハ長谷君ノ御質問ノ趣旨ニ副フヤウナコトニイカスト思フ、マダ確定的ニ御決定ニナラヌ前デアリマスレバ、實情ニ依ツテ動カシ得ルト思ヒマス、關係ノ兩省ガ此ノ線ヲ一旦御決メニナリマス、ソレヲ動カシマスルコトハ非常ナ困難ヲ生ズル、ドウカ國立公園ヲ守ルト云フ立場ト、礦物資源ノ開發ヲセネバナラスト云フ立場ト兩方カラノ御研究デアリマスルガ、商工省トシテハ十分ナル資料ヲ以テ御研究ヲ願ヒタイ、大雪山ニ於キマシテモ、阿寒國立公園ニ於キマシテモ、非常ニ重要ナ良質ノ礦物ガアリマスルコトハ周知ノ事實デアリマス、希望ヲ兼ねテ商工當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○小倉政府委員 御說ノ通り國立公園地帯ニハ隨分有用ナル礦物ガ存シテ居ルノデアリマス、國立公園ノ開放ニ關聯致シマシテ、簡單ニ御説明申上ゲテ置キタイト思ヒマスルノハ、礦業法第十條ノ規定ヲ改正致シマシテ要塞地帯第一區内ノ場所ヲ礦區ト爲スコトガ出來ルト云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、從來要塞地帯ノ第一區ハ絕對ニ礦區ト爲シ得ナイモノヲ、今度改正致シマシ

テ、許可ヲ得タ場合ニ於テハ鑛區ト爲シ得ルト云フ風ニ改メテ居リマス、其ノ位ノコトデアルカラ、國立公園ニ付キマシテモ、眞ニ其處ニ國家有用ナル鑛物ガアル場合ニ於キマシテハ、之ヲ早く開發サセルト云フコトハ當然デゴザイマシテ、唯今東條サンノ御説ニモアリマシタ、又長谷サシモ仰シヤツテ居リマシタガ、國立公園ヲ造ル本旨カラ自ラ制限ガアリマス、ソレデ具體的ニ申上ゲマス、阿寒國立公園地帯トカ、大雪山國立公園地帯ト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、厚生省カラ、此ノ範圍マデハ鑛區ヲ設立シテ宜シト云フヤウナ御案ガ參ツテ居リマス、ソレニ對シテ私共ノ方ハ、此ノ範圍マデハ鑛物ノ存在ガ略、明確ニナツテ居ル又明確ニ致サナケレバナラヌモノダト考ヘテ居ルト云フヤウナ見地カラ、只今折衝致シテ居リマス、ソコデ私ノ方カラ鑛物ノ開發ヲ一刻モ早く、又少シデモ多ク鑛物ヲ増産シタイト云フ立場カラノミ走リマス、色々ナ弊害モ生ジマス、ソコデ兩方ガ異存ガナイ部分ガアリマスカラ、之ニ對シテハ具體的ナ出願ガアレバ異存ノナイ部分ニ對シテハ許可致シテ居リマス、兩方ノ主張ノ異ツテ居ル部分ニ付テ出願ガアリマシタ場合ニハ、此ノ部分マデハ宜シトカ、此ノ道路マデハ宜シトカ、此ノ澤マデハ宜シトカ、此ノ澤マデハ鑛物ガ斯ウ云フ風ニナツテ居ルカラト云フヤウナコトデ、具體的ニ急イデ此ノ問題ヲ片付ケテ行ク、唯全般的ニ此ノ國立公園ハ此ノ範圍ニ於テ鑛區ヲ認メルトカ、鑛業權ノ設定ヲ認メルト云フコトガ原則的ニマダ出來テ居リマセヌ、ソレハ具體的ノ場合ニハソレソレ出來ルダケ早く折衝シテ決メテ戴イテ居リマス

○木暮委員 一寸關聯シテ數字ダケ伺ヒタインデスガ、國立公園地帯ニ對シテ鑛業權ヲ出願シテ居ル鑛區ハドノ位アリマスカ
○小金政府委員 只今ノ御答ノ中少シク補足致シテ置キタイト存ジマスノハ、是ハ國立公園トハ限リマセヌガ、鑛業權ヲ設定シテ善イカ惡イカト云フコトヲマダ研究中デ、是ハ公益ヲ害スルモノトシテ許可シナイ方ガ宜イカ、スル方ガ宜イカト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、鑛區設定ノ手續ガ遅レテ居リマス、隨テ鑛業權トシテノ起算點ガソレダケ遅レル譯デアリマス、隨ヒマシテ出願者ニ取ツテハ優先權トカ何トカト云フ地位ヲ失ハナイヤウニナツテ居リマスケレドモ、日本ノ鑛業開發ガ今日ノ如ク非常ニ急ヲ要スルト云フヤウナ場合ニ於テハ、是亦非常ナ支障デアラウト存ジマス、只今木暮サンカラ御尋ノ國立公園地帯ノ出願或ハ鑛區ノ設定サレタ數ハ只今取調中デゴザイマスカラ後程御答致シマス

○朴委員 我先刻鑛產局長ニ割増金制度ニ付テ分リマスカト言ヒマシタノハ、アナタヲ侮辱シタノデハアリマセヌ、専門家タルアナタガ立會ツテ此ノ割増金制度ノコトヲヤツタノハ、何デ此ノヤウナ分ラヌ複雑シタインチキノヤウナコトヲシタカト云フノデス、是ハ實際分ラナイ、インチキ即チ割増金ト言ハナケレバナラナイ、是ハアナタモ御承知デアラウト思ヒマスガ、今日商工省ハ内外地ヲ通ジテ五箇年計畫ニシタモノハ、半島ガ五箇年間ニ七十五匁ニ對シテ内地ガ五十六匁ト云フ計畫ヲシテ居ルト云フコトハ言フマデモアリマセヌ、併シナガラ今日ノ根本方針ガ矛盾シテ居ル場合ニハ、アナタ方ノ計畫ハ全く出來ル道理モナ

イシ、ソレカラ又無駄ナ骨折ヲシナケレバナラヌト云フ氣ガ私ハスルノデアリマス、一體日本ガ世界ノ三大國トシテ、所謂國際相場ヲ基準トシテ、内地ニヤラスベキモノヲ、何ガ故ニ國際相場ノ所謂時價以下デヤルカ、而モ其ノ開キガ大キイ、調ベテ見ルト一瓦ニ對シテ一圓位ノ開ガアル、今日ノ日本ノ建前カラ言ヘバ、尙更其ノ國際相場ヲ基準トシテ補助シテ増産計畫ヲヤラナケレバナラヌ立場ニアルニモ拘ハラズ、國際相場ヨリ一瓦ニ對シテ一圓安ク買ツテ、サウシテ今度此ノ下ラナイヤウナ所謂割増金制度ト云フ分ラナイモノヲ何ガ故ニクツ付ケテ居ルノカ、其ノ眞意ガ分ラナイト云フノデアル、鑛產局長ハ能ク私ハ御承知デハナイカト思フノデアリマス、例ヘバ産金ノミデナクテ、有ニル特殊鑛物デモ、鑛產ニ關係ノアル方々ガモウ行詰ツテ居ルノデハナイカ、ニモ拘ラズ議員ノ中ニハ認識ヲ誤ツテ居ル人ハドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト云フト、今日ノ産金ノ値ハ其ノ中ニ上ルカラ、鑛石ガ澤山坑内ニアツテモ外ニ出シテハナラナイト云フヤウナコトヲ云フ認識不足ナ人ガアリマス、内地ハ知ラナイケレドモ、外地ノ朝鮮邊リハ隨分無理ヲシテ出シテ居ル、無理ヲシテ出シテ居ルガ、大體商工省ノ計畫デハ初メ五十六匁トカ、七十五匁トカ計畫スル當時ニ、私共ハ内地デハ三瓦トカ四瓦トカアルナラバ引合フト云フヤウナコトヲ聞イテ居ツタノデスガ、是モアナタ方ガ知ツテ居ル通り、鑛量ノ問題デアアル、今日ナラバ此モ此ノ三瓦、四瓦、五瓦、六瓦位デハ引合フヤウナコトハナイト思フ、是モ何處ヲ基準トシテ左様ナコトヲ決メタカ、私共ニハ分ラナイ、一體國際相場ヨリモ一

圓安ク買ハナケレバナラナイト云フノハ、ドンナ事情ニ依ルモノカト云フコトヲ第一番ニ大藏政務次官ニハツキリ私ハ聽キタイト思ツテ居リマス

〔委員長退席、依光委員長代理著席〕

○木村政府委員 只今金ノ買上價格ガ國際水準ニ比較シテ非常ニ安イカラト、其ノ點ニ付テ色々御質問ガアリマシタガ、今朴君ノ御話ノヤウナ點ハ、從來カラ産金業者カラ非常ニ強ク主張サレテ居ル點デアリマス、大藏省ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分諒解ヲ致シテ居リマス、隨テ金ノ増産ト云フコトハ、國策遂行ノ上カラ、此ノ際最モ重要ナ點デアリマスルシ、各方面ノ意見モ聽キ、又商工省トモ十分打合セテ、ソレ等ニ對シテ對策ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、併シ對策ヲ考ヘテ居ルカラト云ツテ、何モ産金ノ買上値ヲ上ゲル、斯ウ云フ意味デハアリマセヌガ、金ノ増産獎勵ニ付キマシテ、今後從來ノヤリ方ニ再檢討ヲ加ヘテ、サウシテ十分對策ヲ立テタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○朴委員 大藏政務次官ハ特ニ私ノ崇拜シテ居ル政務次官デアリマスカラ、忌憚ナク思切ツテ御聽キシタイト思ヒマス、併シ今ノ政務次官ノ御答辯ニ依ルト、一寸濁ル言葉ガアルノデス、ソレハ上ゲル積リヂヤナイケレドモ、マア特ニ考ヘルト云フコトヲ私ハ聽イタノデアリマス、今度ハ政黨ノ大藏大臣デアリ、政黨ノ政務次官デスカラ、此ノ大藏省ノ内部ヲ根柢カラ改革シナイト、日本ノ物動計畫ト云フモノハ殆ド「ゼロ」ダト思ツテ居ル、何トナレバ、アノ人等ハ唯机ノ上カラ言ヘバ中々頭ガ良イ方ダカ

圓安ク買ハナケレバナラナイト云フノハ、ドンナ事情ニ依ルモノカト云フコトヲ第一番ニ大藏政務次官ニハツキリ私ハ聽キタイト思ツテ居リマス

ラ、コンナ割増金ト云フヤウナインチキ位
ノコトハヤルガ、實際ニ打ツ突カツテ仕事
ヲスルノ身ニナツテ見レバ、コンナ馬鹿
ヲナコトヲ言ツテ居ルノハ、私ハバカシクテ
仕様ガナイ、同ジ金ヲ捨テルナラバ、男ヲ
シク國際相場ニ釣上ゲレバ宜イデハナイ
カ、兎ニ角昭和十三年ノ五月カラ此ノ一
「グラム」三圓八十五錢ト云フモノガ私ハ
カシイ、政務次官モ昭和十三年カラ今日ノ
物價ガドノ位騰貴シテ居ルカト云フコトモ
御承知デアラウト思ヒマス、第一番ニ外地
ニ於ケル勞働賃金、昭和十二年、十三年ア
タリト比レバ、半島ノ人夫賃金カラ言ヘ
バ、今日ハ殆ド三倍位ニナツテ居リマス、
其ノ當時ハ先ヅ五十錢カラ六十錢位デア
ツケレドモ、今ノ坑夫アタリハ一圓二十錢、
一圓五十錢位ヤラナケレバ需メルコトガ出
來ナイ、其ノ當時ト今日ハ總テノ物價ガ騰
貴シデ、物ニ依ツテハ倍ニナツテキル、此
ノ間モ私ハ豫算總會デ商工大臣ニ申上ゲタ
ノデスガ、兎ニ角閣取引ト云フモノハ取締
ラナケレバナライ、賣ル者ト買フ者トデ
スル閣取引、是ハ寧ロ買フ人ノ方カラ要求
シテ居ルノデス、現在ノ「レール」、アレヲ
私共ハ殆ド一年位前切符ヲ貰ツテ、ソレヲ
出シテ居リナガラ手ニ入ラナイ、是モ或所
カラ聞クト、一万八千圓與レルナラバ一哩
位分ケテヤツテモ宜イト云フ、ソレハ昭和
十二年トカ、十三年ニハ二千五百圓、一番
安イ時ニハ千六百五十圓位デアツタモノ
ガ、今日一万八千圓位ナラバオ前達ニ讓ツ
テヤラウト云フヤウナ時代ニナツテ來テ居
ル、ソレニモ拘ハラズ産金ニ付テ、昭和十
三年ニ兎ニ角決メタモノヲ、今日マデ其儘
ニシテ國際相場ヨリ今言ツタヤウニ一圓位

安クシテ買ハナケレバナラスト云フ理窟ガ
僕ハドウ考ヘテモ分ラナイ、ソレデ今日ハ
ドウカト言ヒマス、此處ニ書イテアル通
リ、是ガ又政府ガ泥棒ヲ作ツテ居ルヤウナ
モノデア、此ノ割増金制度ト云フモノハ、
是ハ吳レナイヨリ吳レタ方ガ宜イガ、二圓
以下一圓マデノ割増金ヲ與ヘルト云フコト
ハ、是ハ産金業者カラ言ヘバ有難イ、併シ
割増金ノ割當テ方ガ非常ニ巧妙ニ出來テ居
ル、例ヘバ乙ノ鑛山ニ甲ノ鑛山ニ丙ノ鑛山
ヲ同ジ會社ガ持ツテ居ルトスレバ、今マデ
ノ昭和十三年度ヲ基準トシテ、ソレカラ以
上ニ上ツタモノニ對シテ、二圓カラ一圓ノ
割増金ヲヤル、所ガ從來例ヘバ乙ノ鑛山ガ
百兩ノ鑛石ヲ出シタト云フコトデアレバ、
其ノ百兩ニ對シテハ割増金ヲヤラス代リニ、
百一十一兩假ニ出タ場合ニハ、百兩ハヤラ
ナイ、十一兩ニ對スル割増金ヲヤラウ、斯
ク云フコトニナツテ居ル、所ガ今度此ノ二
圓カラ一圓ノ割増金ヲ貰フ爲ニ、同ジ
會社ガ甲ト乙ト丙ト云フ鑛山ヲ持ツテ居
バ、其ノ甲ヲ助ケル爲ニハ乙ヲ潰サナクテ
ハナラナイ、乙ノ方カラ出タカラ、乙ノ
方ニ割増金ヲ與レト云フコトニ私ハナ
ルト思フ、サウ云フ複雑シタコトヲシナ
ケレバナラスモノカドウカ、私ハ國ガサウ
シナクテハナラヌモノト思フトフカシクテ
仕様ガナイ、モウ一ツハ此ノ割増金ト
云フモノヲ與ヘル爲ニハ、第一番ニ役人ト云
フモノヲ十數倍使ハナケレバナライ、今
日ノ金ガナクテ非常ニ困ツテ居ル際ニ何百
何千ト云フ金ヲ使ハナクテハナラヌコトニ
ナル、所ガ鑛產局長モ知ツテ居ル通り、割
増金ハ中々スル／＼ト貰エルモノデヤナイ、
補助金ヲ貰フ人ガ假ニ千圓貰フトスルナラ

バ、諸費用トシテ先ヅ二割カ三割位ヲ差引
カレナクテハナラナイ、手續ヲスルニシテ
モ何ヤ彼ヤ實ニウルサイ、是モ出セ、ア
レモ出セ、役所ノスルコトダカラ、一字違
ツテモ之ヲ突返シテ、コイツハ手續モ知ラ
ナイト云フヤウナコトガ多クアル、コンナ
ムヅカシイコトヲシテ産金業者ヲ苦シメナ
ケレバナライ國ノ建前デハナイト私ハ思
ツテ居ル、商工省ハ能ク分ツテ居ル、直接
間接此ノ鑛山ヲヤツテ居ル者ト、鑛山ノ中
ノ現狀ヲ知ツテ居ルカラ、能ク分ツテ居ル、
分ラヌ者ハ大藏省デア、殊ニ私ハ言ウテ
モ差支ナイト思フガ、大藏省ノ事務次官タ
ルアノ大野ト云フ人間、アレハ何モ知ラナ
イノダ、知ラナイカラ、或ル人ガ割増金制
度トカ色々關係ヲ尋ネテ行クト、振向モセ
ズニ頭カラ威スト云フ、サウ云フヤウナ
人間大藏省ガ改革シナケレバ、今ノ物動計
畫ト云フモノハ以テノ外ダト思ツテ居ル、
幾ラ政府ガヤカマシク言ツタツテ、ソレハ
出來ヤシナイ、ソコデ今日ハ産金ノミデナ
ク、先程鑛產局長ガ或ハ鉛トカ錫トカ云フ
物ノコトモ仰シヤツタガ、アナタノ言ハレ
ル値段デ品位ノ惡イモノヲ處理スルト云フコ
トハ、是ハ幾ラ政府ガ號令ヲ掛ケタ所デ出
來ツコトナ、日本ノ國ニドウシテモ必要ナ
ラバ値ヲ良クシテ買フ方ガ宜イデヤナイ
カ、兎ニ角此ノ間吾々ハアノ物動計畫ニ對
スル色々説明モ聽キマシタガ、實際情ケ
ナイ、聽テ驚イタ、私共ハ日本ノ國ハソレ
程マデハナイカト思ツテ居タノデス、例ヘ
バ此ノ間商工大臣ハ豫算總會デ石炭十萬兩
ニ對シテ三百萬圓損シテ、日本ノ國ヲ傷付ケ
ナガラ外國カラ買フノハドウ云フ譯カト云
フ或ル委員ノ質問ニ對シテ、今日ノ日本ノ

現狀デハ背ニ腹ハ代ヘラレナイカラ買ツタ
ト云フ答辯デアリマシタ、併シナガラ其ノ
一應ニ對シテ六十五圓デ日本ノ港ヘ著イタ
石炭ヲ買フナラバ、今日ノ日本ニダツテ石
炭ガ全然ナイ譯デハナイ、相當ニ値サヘ引
合ヘバ出ルノデア、ソナナ高イモノヲ外
國カラ買ハナイデモ宜イ、外國ヘ捨テル金
ガアルノニ、國內ニ對シテハギユウ／＼イ
デメルト云フコトハドウモイケナイ、ソコ
デ私共モ多少直接ニ經驗ヲ持ツテ居リマ
スカラ申シマスガ、此ノ割増金制度ニ對
スル各方面ノ非難ガ多イト云フコトハ、鑛
產局長モ能ク御承知デアラウト私ハ思フ、
兎ニ角問題ハ此ノ割増金ト云フモノ、ソレ
カラ補助金制度、所謂産金獎勵金デスガ、
此ノ獎勵金ガ少シ多ク出テハ居ルガ、實際
ニ事業ヲヤツテ居ル人ニハ幾ラニモ當ラナ
イ、是モ無イヨリ有ル方ガ宜イケレドモ、
兎ニ角サウ云フムヅカシイコトヲセズニ、
値段ヲ國際相場マデ釣上ゲテヤレバ、政府
ガソナニ獎勵金ヤ何カデ心配ヲシナクテ
モ、僕ハ産金ハ思フ通りニ五十兩ヤ七十五
兩ハ出ルト思フ、一方ハ獎勵ヲ出シ一方ハ
金ヲ安ク買フ、ドウモ矛盾シテ居ルト思ヒマ
ス、ソレカラ日本産金振興會社ハ三億萬圓
ト云フモノヲ計畫シテ居ルガ、内地ハ九千
萬圓、朝鮮ハ一億九千萬圓、臺灣ガ二千萬
圓ト云フ割當金ハ結構デア、併シ片一
方デハ之ヲ獎勵スル爲ニ議會デ協賛ヲ與ヘテ
兎ニ角アア云ツタヤウナ豫算ヲ取ツテ居ル、
サシウテ一方ハ獎勵金ヲ與ヘ、片一方ハ抑
付ケテ居ルト云フコトハ餘リ感心シタコト
デハナイト思ヒマス、是ハ大藏省ノ政務次
官ハ能ク御承知デアルト思ヒマスガ、例ノ
鑛產利得稅、アレハ兎ニ角ヒドイモノダ、

内地ハ二割五分、朝鮮ハ二割三分、
ノ爲ニ今日鑛山ノ賣買ト云フモノハモウ既
ニ中止シタヤウナ状態デアツテ、朝鮮ノ人
ハ——内地ハドウカ知ラナイガ、恐ラク内
地モサウヂヤナイカト思フガ、實際鑛山ト
云フモノハ親子代々マデ掘ラウト云フ意思
ヲ持ツテ居ル人ハ少イ、鑛山ヲ早く見付ケ
テ、甲ノ會社ヘ賣ルトカ、乙ノ會社ヘ賣ル
トカ、丙ノ會社ヘ賣ルト云フコトガ多い、是
ガ今日ノ例ノ法律デ抑ヘラレル、二割五分
ダトスレバ百萬圓賣ツタラ二十五萬圓取
ラレル、此ノ利得稅ト云フモノガ又非常ニ
インチキ的ニ出來テ居ル、是モ引ク、ア
レモ引ク、何處ニ中心ヲ置キ、何處ニ基準
ヲ置クカ分ラナイ、之ヲ本當ニ二割五分取
ル爲ニ、根本的ニ調ベレバ、結局脫稅行爲
ガ起ル、脫稅行爲ガ起レバ兎ニ角之ヲ監獄
ニ入レルト云フコトニナル、幾ラデモ監獄
ニ入ル者ガ多クナル、國ガ泥棒ヲ作ルヤウ
ナコトヲヤツテ居ル、一方ノ方デハ獎勵ヲ
ヤリ、獎勵金ヲ出シテ、兎ニ角三億萬圓臺ノ
會社ヲ作ツテ居ルト云フコトヲシナガラ、
片方デ抑ヘテシマツテ居ルノダカラ、朝鮮
ハ殆ド鑛山ノ賣買ハナクナツタ、ナクナツ
テシマツタカラ、モウ鑛山ヲ見付ケル人モ
ナイ、ソコデ此ノ二割五分ノ利得稅ハドウ
シテモ取ラナケレバナラスモノカ、ソレカ
ラ又實際ニ私共ハ大藏省ノ思ツテ居ルコト
ト反對ニ、是ガナクナヤナラスト云フ鑛物
ヲ出スニハ——所謂動モスレバ事變ト云フコ
トヲ盾ニ取ツテ居ルケレドモ、尙ホ更此ノ
事變ニナクナヤナラス鑛物ヲ掘ルト云フ
コトナラバ、今ノ商工大臣ノ言フ通り背
ニ腹ハ代ヘラレナイト云フヤウナ立場カ
ラ、寧ロ鑛產稅ト云フモノハ無稅ニシテ、

金ハ今日ノ日本ニ於テハ無限ニ要ルモノデ
アル、此ノ要ルモノヲ掘ルト云フコトガ私
ハ國家ノ建前デヤナイカト思ウテ居ル、ソ
レヲ一方デ獎勵シテ置イテ一方デハ抑ヘ付
ケテ居ル、何ガ何ヤラサツパリ分ラナイヤ
ウナ矛盾シタコトヲシテ居ルヤウナ人間ヲ
大藏省ニ置クコトハ、是ハ中々容易ナラス
コトダ、何モ大藏省ノ大野サシハ親ヲ殺シ
タ仇ヂヤナイガ、併シアノ人間ヲ置イテハ
駄目ダ、デアリマスカラ、私ノ信賴スル政
務次官ガ居ルノダカラ、根柢カラ大藏省ノ
立直シヲシナケレバイケナイ、今言ウタヤ
ウニ國ノ爲ニヤラスベキモノヲ二割五分ノ
利得稅ヲ取り、片方デ獎勵金ヲヤル、ドウ
シテ斯ウ云フヤウナ矛盾シタヤリ方ヲヤ
ラケレバナラスカト云フコトヲ、モウ一遍
大藏政務次官カラハツキリ聽カシテ戴キタ
イ

○木村政府委員 只今朴君ノ申サレマシタ
ヤウニ、重要鑛產物ニ對シテ今日ノ時局柄
政府ガソレニ適當ナ對策ヲ講ジナクチャイ
カスト云フ御議論ニ對シマシテハ、私モ全
然同感デアリマス

〔依光委員長代理退席、委員長著席〕
隨テ今回ノ稅制ノ改正ニ於キマシテモ、
此ノ現下ノ差迫ツタ經濟政策トハ十分ナ調
和ヲ圖ル、斯ウ云フ見地カラ改正ヲ致シタ
ノデアリマシテ、隨テ例ヘバ金、銀、鑛
アルトカ、或ハ銅、鐵、錫、亞鉛、硫化鐵、
「ニッケル」、「マンガン」、石油、斯ウ云フヤウ
ナ重要鑛產物ニ對シマシテハ、法人稅、分類
所得稅、是ハ大體稅率ノ百分ノ二ヲ輕減ス
ル、或ハ事業ヲ開始シタ年及ビ其ノ翌年ヨ
リ三年間ハ法人稅及ビ營業稅、所得稅ナド
モ免除スル、斯ウ云フヤウナ規定ヲ致シテ

居リマスノハ、全クサウ云フヤウナ所カラ
起ツテ居ル次第デアリマシテ、之ヲ總テ無
稅ニシテシマフコト、ソレモ一ツノ方法カ
モ知レマセスケレドモ、政府トシテハ只今
申上ダテ程度ニ於テ、是等重要鑛產物ノ増
產、其ノ事業ノ發達ヲ圖ル、斯ウ云フ建前ニ
致シテ居ルノデアリマス、先程從來ノ臨時利得
稅法ノ中ニ規定シテ居リマス讓渡利得、是ノ
百分ノ二十五ト云フモノハ多過ギルデヤナ
イカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタガ、是ハ
先ヅ百萬圓デ自分ノ權利ヲ讓渡シタ者カラ
二十五萬圓ダケハ納メサセル、七十五萬圓
ダケハ其ノ人ノ所得ニスル、斯ウ云フ建前
ト相成ル次第デアリマスカラ、先ヅ其ノ程度
位ノ稅ヲ納メルコトハマア國ノ爲ニ忍ブベ
キコトデヤナカラウカ、斯ウ云フ趣旨デ出
來テ居ル譯デアリマス、色々大藏省ノ立直
シ等ニ付テモ御意見ガアリマシタガ、ソレ
等ノ點ハ能ク傾聽致シテ置ク次第デアリマ
ス

○朴委員 私ハ大藏政務次官ノ御答辯ヲ聽
キマシテ、成程吾々日本國民トシテハ、何モ
國ニ稅金ヲ納メルコトヲ吝ムモノデハナイ、
アレバ幾ラデモ出ス、此ノ際ハアルダケ出
スト云フコトガ國民ノ義務ト私共ハ信ジテ
居リマス、併シナガラ斯ウ云フ矛盾ガアル
コトハ政務次官モ御承知デアルト思ヒマス、
例ヘバ先刻申上ダテ會社、甲ノ會社ハ損ヲ
シテ居ル、丙ノ會社モ損ヲシテ居ル、乙ノ
會社ハ今言ウタ通り百萬圓儲ケテ居ルト假
定シマス、甲、丙ハ二百萬圓位損ヲシテ居
ル、此ノ二百萬圓損シタト云フコトハ頭ニ
置イテナイ、是ハ人間ガ違ツタナラバ別問
題デスガ、同ジ朴ナラバ朴ト云フ人間ガ鑛山
ヲ持ツテ居ルト假定シテ、同ジ人ガ甲モ持

チ、乙モ持チ、丙モ持ツ、是ハ政務次官モ
能ク御承知ノ通り、甲モ乙モ丙モト鑛山ヲ
ヤレバヤル程儲カルト云フコトハ減多ニア
リハシナイ、甲モ損ヲスル、丙モ損ヲスル、
乙一ツ儲ケル、乙ガ百萬圓儲ケタナラバ、
甲丙ハ幾ラ損ヲシテモ構ハナイカラ、コッ
チノ儲ケタモノダケ取ラナケレバナラス
云フコトハ、私ハドウ考ヘテモ不合理デア
ル、是ハヨカシイト思フ、割増金制度ト同
ジヤウナコトニナリマス、ソレデアリマス
カラ、要スルニ私ハソレニ對シテ大藏政務
次官カラハツキリシタ答辯ヲ聽イテ置キタ
イ、私ハ斯ウ云フ問題ハ幾ラデモアル、世
ノ中ニ不合理、不便ナ事ガ澤山アリマス
レドモ、要スルニ我ガ日本ノ國デハ、先刻
申上ダテ世界三大國トシテ國際相場ヨリ兎
ニ角一圓安ク買フ建前ガ何處ニアルカ、モ
ウ一ツ、政務次官モ御存ジノ通り、我ガ國
内デ所謂ナクテハナラス品物ヲ折角掘ツ
テ、ソレヲ外國ニ密輸出ガ出來ルト云フ原
因ハ、結局値ノ問題デアル、ナンボ抑ヘヨ
ウト思ツテモ、最近ハ朝鮮ノ方デハ、隨分
鴨綠江ノ交通ガ頻繁ニナツテ居ル、此ノ前
ノ豫算總會ニ於テモ言ヒマシタケレドモ、
密輸出ハ抑ヘル方法ガアリマセヌ、ナゼナ
ラバ、船デ渡ル時ハ抑ヘル方法ガアリマス
ケレドモ、冬ニナツテ鴨綠江ガ凍ツテシマツ
タナラバ、何處カラデモ渡ルカラ、一処デモ、
二処デモ、三処デモ兎モ角持ツテ滿洲國ニ渡
ル、渡レバ是ハ二十五圓、二十四圓、二十三圓
デ賣レル、コンナコトハ防ギ切レナイ、或ル
時汽車ニ乗ツテ——或ル人ニ聞キマシタガ、
密輸出ヲ新義州デ抑ヘタ、抑ヘタ處ガ林檎ノ
實ヲ切取ツテ、其ノ中ニ二百匁ヤ三百匁位
ノ砂金ヲ入レテ居ル、林檎ノ實ヲ巧ク切取

ツテ子供ニ持シテ置ケカラ、子供ガ本當ニ林檎ヲ持ツテ食ベルモノダト思ツタ所ガ、ソレガ偶々暴露シテ、初メテ林檎ノ實ヲ切取ツテ、中ニ砂金ガ入ツテ居ルト云フコトガ分ツタ、サウ云フコトマデヤツテ居ル、之ヲヤル人間ハ、國ノ方針ヲ裏切ツテヤルノガカラ、無論惡イ、惡イケレドモ、兎ニ角國ガ惡イ事ヲオ前ヤレト云ツテヤラシテ居ルヤウナモノダ、今言ヒマシタヤウニ産金ノ獎勵金ヲヤツテ、兎ニ角日本ハソレガナケレバ外國カラ品物ヲ一ツモ買フコトガ出來ナイ今日ノ立場デアルニモ拘ラズ、國際相場ヨリ一圓安ク買ツテ、サウシテ斯ウ云フ馬鹿ナコトヲ隱レテヤラセナケレバナラスト云フ理由ガ何處ニアルカト云フコトヲ、政務次官カラ第一ニ聽カシテ貰ヒタイト思フ、其ノ理由ガ僕ニハ分ラナイ

○木村政府委員 國際水準ヨリ金ノ買入價格ヲ一圓安クシテ居ルノハ理由ガナイ、斯ウ云フ御意見ハ、御話ノ點ダケカラ考ヘマスト御尤ノヤウニモ思ヒマスガ、御承知ノヤウニ政府デハ金ノ集中、民間ニアル潰金ノ集中ニ力ヲ盡シテ居リマシテ、是ハ額ヲ申上ゲ惡イト思ヒマスガ、昨年中ニ産金以外ノ金デ政府ノ集メタ額ハ相當額ニ達シテ居リマス、是ハ恐ラク世人ノ想像以上ノ額ニ達シテ居リマシテ、政府ハ一定ノ價格ヲ以テソレ等ノ金ヲ國民カラ買上ゲタ譯デアリマスカラ、茲ニ又金ノ價格ヲ上ゲルト云フコトニナリマスト、今日マデ國民ヲ欺イタト云フ風ナ非難モ亦一面生ジテ來ル譯デアリマス、隨テ此ノ際金ノ價格ヲ國際水準マデ直グ引上ゲル、昨年ヨリモ一圓ナラ一圓引上ゲル、斯ウ云フコトヲヤリマスト、今日マデ國民ガ努力ヲシテ、

相當犧牲の精神ヲ以テ政府ノ爲ニ隨分多クノ金ヲ賣ツテ居ル者カラ、非常ナ不信ヲ政府ガ買フ、斯ウ云フ結果モ一面アリマスカラ、其ノ點ハ國民思想ノ上カラモ十分考慮ヲ致サナクテハナラヌト思ヒマス、然ラバ今朴君ノ御話ニナリマシタヤウニ、金ノ價格ガ國際水準ヨリモ安イ、斯ウ云フコトデアリマスガ、政府ハ増産獎勵金ナリ助成金ナリ、或ハ割増金ノ制度ナリ、色々ナ方法ヲ講ジマシテ、寧ロ國際水準ヨリ或ル點カラ言フト高クナル、斯ウ云フコトモ考ヘラレノデアリマシテ、必ズシモ金ノ買上値段ヲ變更シナケレバ、産金業者ノ手ニ入ル價格ガ高クナル、高クナラヌ、斯ウ云フ譯ノモノデハナイト思ヒマス、隨テ増産獎勵金ナリ、或ハ助成金ナリ、色々ノ方法ヲ講ジマシテ、金ノ價格ハ或ル點カラ言フト國際水準ヨリモ高クナル、斯ウ云フコトモ考ヘラレノ譯デアリマス、色々ノ方法ヲ今日マデ實施シテ來タ経緯等モアリマスカラ、今得十分後ノ方法等ニ付テモ考ヘテ見ナクテハナラヌ、斯ウ考ヘル次第デアリマス

○朴委員 政務次官ノ御答辯ハ、成程今マデ民間ノ持ツテ居ル金ヲ大分取上ゲタ關係上、急ニ價格ヲ上ゲルコトハ困難デアル、是ハ御尤モナ所ガアルト思ヒマス、併シ大藏政務次官ハ後ノ答辯ノヤウナコトデハ大間違ヒデアリマス、アナタハモット頭ヲ作ツテ掛ラナケレバナラヌ、獎勵金トカ割増金トカ云フモノヲ與ヘルコトヲ考ヘテ見ルト、今ノ國際相場ヨリ高イデハナイ、成程サウ云フコトニナルカモ知レマセヌ、所ガ實際ニ獎勵金ヲ貰フ人ノコトヲ聞キマスト、今日ノ鑛山ニハ實際技術家ガナイ、之ヲ雇フニモ、以前ニハ百二十圓ヤ百五十圓デ方々

カラ押賣ヲシタノニ、今日ハ五百圓、六百圓デモ來テ呉レ手ガナイ、是ハ實際アリマセヌ、所ガ補助金等ヲヤルニハ役所ノ人件費ヲ殖ヤサナケレバナラヌ、例ヘバ或ル鑛山ニ鑛岩機獎勵金トカ、或ハ機械設備ノ補助金トカ、色々ナモノガアリマス、之ヲヤル爲ニハ少クトモ鑛山ヲ調査シナクテハナラヌ、ソレカラソレニ要スル機械ニ付テ調ベナクテハナラヌ、或ハ斯ウモシナクテハナラヌト云フコトデヤツテ居ル關係上、行ツタリ來タリ、ソレカラ何ヤ彼ニヤト費用ガ要ルノヲ差引クト、貰フ方ハ餘リ有難クナクナツテ、而モウルサクテ仕樣ガナイ、斯ウ云フヤウナコトガアルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、一般ノ人ガ此ノ恩典ヲ蒙ラナイ、是ハ政務次官モ御承知ノ通り、今日鑛岩機ノ補助ヲ貰フ程ノ人ハ寧ロ補助ヲシナクテモヤリ得ルダケノ實力ヲ持ツテ居ル、ドツチカト云フト本當ニ窮々シナガラ自分ノ力ヲ以テ鑛山ヲ開發シテ行ク中小鑛業者ハ其ノ恩典ヲ蒙ラナイ、苟モ一般ノ人ニ恩典ヲ蒙ラセルト云フノニハ、斯ウ云ツタヤウナヤリ方ヲ改善シナクテハナラヌノデハナイカト私ハ思フ、今日ハ私大藏政務次官ヲモットイデメナクテハナラヌト思ヒマス、特ニアナタヲイデメルノデハナクテ、大藏省其ノモノガ今後根柢カラ頭ヲ作ツテ掛ラナクテハイケナイ、其處ニ商工省ノ方モ居リマスケレドモ、商工省ハ氣ノ毒ダ、可哀想ダ、之ニ對シテ始終接觸シテ居ルカラ、何トカシテヤラウト思ツテモ、大藏省ニ持ツテ行クト頭カラ嚇カサレル、ダカラ出來ヤシナイ、サウナツテ居ル、同ジ役人デアツテ、同ジ内閣デアツテ、同ジ閣僚デアリナガラ、始終意見ノ相違ト云フ

コトガアルヤウニ聽イテ居リマス、此ノ事ガ産金或ハ産金ノミデハナク今日ノ鉛トカ、銅トカ、タンングステントカ、有ユル特殊鑛物ニ對スル物動計畫ニ懸念シ案ズル次第デアリマス、故ニ私ハ今ノ獎勵方法ガ惡イト思フ、詰リ今政務次官ノ言フ通りニ、今マデ國民カラ金ヲ取上ゲタ手前カラ、價格ヲ急ニ上ゲルコトハ困難デアル、非難モ多イト云フ建前ナラバ、此ノ獎勵金ノ仕方ヲ變ヘナクテハナラヌ、獎勵金ノ仕方ヲ變ヘルト云フコトハ、ドウ云フコトデアルカト云フト、獎勵金ノ割當デ擦ツタ揉ンダトヤヤコシイコトヲ言ハズニ、先ヅ砂金一匁ニ幾ラト云フコトニシテ、ジカニ朝鮮銀行ニ持ツテ來イ、日本銀行ニ持ツテ來イト言ツテ、ソレニ對シテ割増金ヲ與ヘルト云フコトデヤツテ行クナラバ、私共ハ今ノ政府ガ考ヘテ居ル五箇年ノ計畫デ殆ド五十六地ト云フコトハ實現スルト思フ、ソレカラモウ一ツ、先程森田委員カラモ話ガアリマシタガ、製鍊問題ノコトデアリマス、是ハ胡麻化ストカ、胡麻化サナイト云フコトハ、中々分リハシナイ、幾ラ胡麻化シテモ分リハシナイ、所ガ所謂製鍊ノ中デモ例ヘバ鑛産局長モ能ク知ツテ居ラレル通り、雜鑛ノ中ニハ鉛モ含シ居レバ亞鉛モ含シデ居ル、所ガ斯ウ云フコトヲ今ノ日本デハ急ニ研究スルトカ何トカ言ツテ居ルケレドモ、遠イ昔カラ研究シテナケレバナリナイコトデアリマス、ハツキリ製鍊分析スルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居ル、是ハ考ヘテ見ルト情ケナイ、本當ニウント豫算ヲ取ツテ、此ノ捨テルベキ鑛物ヲ生カスト云フコトガ商工省ノ建前デアリ、又鑛産局長、アナタノ使命デハナイカト思フ、例

へバ雜鑛ト云フモノハ鉛ニモナラズ、亞鉛ニモナラズ、銅ニモナラズ、銀ニモナラズ、此ノ鑛物が今日本ニハ豐富ニアルニ拘ラズ、日本ノ研究ガ足ラナイ爲ニ之ヲ無駄ニ捨テシマツテ居ル、製鑛場ニ賣鑛スルトスレバ製鑛所ハ普通ノ鑛石ト比ベルト餘分ニ取ツテキル、今、私共ノ理想カラ言ヘバ本當ハ國ガ製鑛場ヲ持ツテアルベキモノヲ、一個人ノ會社ガ持ツテ居ルタメニ此ノ缺點ガ生レルノデアル、尙製鑛所ニ鑛石ヲ持ツテ行クト内地ハ六瓦或ハ七瓦ナラバ引合フベキモノデアルガ、朝鮮ニ於テハ十瓦ニナリマシテモ引合ハナイ、所謂鑛石ニ對シテ引合ハナイ、從來ハドウカト云フト、十五瓦ト云フモノヲ豫定シテ居ルモノガ、初メハ何デモ十五瓦トカ、二十瓦ヲ呉レルサウダ、人間ヲ疑ヘバ限リハナイケレドモ、一段取引スルニ從ツテ、ガラツト落シテシマツテ、十瓦、八瓦シカ呉レナイト云フヤウナ傾向ガアツタ場合ニハ、非常ニ製鑛所ヲ疑ハナクテハナラヌト云フ非常ニ弊害ガアルコトニナル、尙徹底的ニ產金ノ獎勵ヲスルト云フ意味ナラバ、第一ニ交通カラ決メテ行カナクテハナラヌ、鐵道省ニモ私ハ後デ承リタイノデスガ、兎ニ角交通カラ考ヘナクテハナラヌ、内地ニ於テモサウ言ツタ所ハ澤山アルト思ヒマスガ、朝鮮ノ開發ハ是カラデスガ、交通ガ不便ノ爲ニ相當ノ鑛物ガアツテモ之ヲ掘出スコトガ出來ナイ、ソレナレバ產金道路ト云フモノヲ徹底的ニヤレバドウカト云フコトニナルガ、產金道路ヲ徹底的ニヤラウトスルナラバ、經濟的ニ破綻ヲ來スカラ容易ニ實現シナイ、ソレカラ又鐵道ノ運搬ノコトハ、ドウシテモ日本ノ國ニナケレバナラスモノヲヤラナケレ

バナラスカラ、之ニ對シテ相當割引ヲシテ運搬ノ便利ヲ與ヘルコトニシナケレバナラス、資源ニ對スル補助ヲスルト云フコトヲ言フガ、現在サウ云ツタヤウナ鑛石ヲ購ヘ持ツテ行ケバ、イヤ他ノ運搬ガ忙シイ、ソナコトハ面倒臭イト云フ位デ捨テ置ク驛ガ澤山アル、ダカラ此ノ根本方針トシテ、所謂商工省ノ、アナタノヤウナ局長サノ方デ、斯ウ云ツタヤウナコトハ、今日ノ此ノ鑛業法中改正法律案ト云フモノヲ出ス前ニ、モウ少シソシナヤウナ具體的ナ日本トシテ解決スベキ點ガ私ハ澤山アルト思ヒマス、今度ノ鑛業法中改正法律案モ無論ハ私共ハ二年トカ三年トカ四年トカ經テバ權利ヲ奪ヒ取ラレルト云フヤウナコトヲ言フケレドモ、私ハ結局腹ヲ割ツテ見レバ、兎ニ角今ノ税金ノ問題、税金ガ兎ニ角採掘ト試掘ト同ジヤウニシテ呉レルナラバ、採掘デモ試掘デモ同ジコトニナル、所ガ税金ガ採掘ニナルト倍取ラレルカラ、是ハ面倒ナ問題ニナル、所ガ私ハ前ニ鑛產局長ニ申上ゲタ通り採掘トカ試掘トカ面倒臭イコトヲセズニ、或ル適當ナ期間ニ於テ相當調査モシ、相當調ベル機會ヲ與ヘテ、イキナリ許可制ヲ朝鮮ト同ジヤウニヤツタラドウカ、私ハ斯ウ思フ、是ハ簡單デ宜イデヤナイカ、或ル人ハ採掘試掘ノ爲ニ或ル期間ヲ忘レタ爲、立派ナ鑛區ヲ取ラレタト云フコトモアル、又私共結局税金ノ問題デアルカラ、採掘トカ試掘トカ云フコトヲ言ツテモ、内地ハ即チ試掘ノ時ニハ、例ヘバ貧乏人ガ擔保ニ置カウトシテモ置クコトガ出來ナイ、ダカラ採掘ト云フコトヲハツキリ認メルト擔保ニ置クコトガ出來ル、是ハ初メノ方ガ宜イノデハナイカト思フ、所ガ中ニハ鑛山「ブローカー」ガア

ル、之ヲ防グ爲ニハ私ハ今ノ法律ガ宜イト思フ、併シ之ニ對スル問題モ、結局税金ノ高ク取ル爲ニ斯ウ云ツタヤウナ種々問題ガ起キテ來ルノデアリマス、ソコデ結局税金ト云フモノハ大藏省ニ關スル問題デアリマスカラ、大藏省ハ、國ニドウシテモナケレバナラス、掘ラナケレバナラストシテ、片方デハ補助シテ居リ、三億圓ノ龐大ナル豫算ヲ取ツテ、產金獎勵ガ、掘レ掘レト言ツテ置キナガラ、頭ヲコツント押ヘテシマフ、サウシテ税金ヲ取ラナケレバナラス、二割五分取ラナケレバナラス、三割取ラナケレバナラス、コシナ矛盾シタルコトヲヤル政府ノ役人ガ居ル今日、中々日本ノ此ノ難局ヲ乗切ルコトハ困難ダト思ヒマス、尤モ政治ハ肚ダ、ダカラサウ云ツタヤウナコトヲ根柢カラ破ルト云フ位ノ力アル大臣ガ居リ、力アル政務次官ガアツテ然レバシト私ハ思ヒマス、コシテ手前勝手ノ頭デ作ツタヤウナモノヲ、アア左様デゴザイマスカ、是ナラ御尤モダト言ツテ、之ヲヤル人ニ持ツテ行クカラ世ノ中ノ非難ガ多イノデアル、私共非常ニ不安ダト思フノハソコデアリマス、私共ハ隨分言ヒタイコトモアル、今日ノ支那事變ニ對シテモ思切ツテ言ヒタイコトガアルケレドモ、只今ノ日本ノ建前カラ餘リ喋ツタラ損スルコトハ言ハヌコトデス、本當ニサウ云フコトガアル、吾々日本人トシテ隨分思切ツテヤラナケレバナラスコトガアルケレドモ、或ハ國際問題ダトカ何ダ彼ダトカト云フヤウナコトガアルカラ、先ヅ今ノ日本ノ眞ノ肚ノアル者ハ相當言ハズニ忍ンデ居ルコトガ澤山アル、所ガ或ル人間ハソナコトヲセズ、ベラ／＼喋ツテ、日本ノ國務大臣

ガ嘘付キダトカ何トカ、外國ニ對シテ餘リ良イコトデヤナイコトマデ言ツテ居ル、ダカラ喋ツチャ損スルコトハ言ハヌケレドモ、併シ之ヲ以テ何時マデモ此ノ儘蓋ヲシテ置クト云フト好イ氣ニナツテ、結局今ノ日本ハ所謂資源開發ヲシナケレバナラスモノヲ蓋ヲシテ置クト云フヤウナ形ニナル、デアリマスカラ先ヅ私ハ今ノ大藏政務次官ハ崇拜シテ居ル人間デアリマスカラ、アナタト所謂政黨ノ大臣ガ居ルカラ、先ヅ根柢カラ大藏省ノ改革ヲシテ、サウシテ今ノヤウナ意味デ法律ヲ作ツテ、人間ガ作ツタノダカラ、法律ヲ改正シテ、稅ハ二割五分、三割五分取ルト云フコトハ宜シクナイカラ、今ノ日本ノ產金ニ妨害ガアルト云フコトガ分ツタナラバ、何モ取消シテモ宜イデヤナイカ、法律ヲ新ニ作ツテモ宜イデヤナイカ、ソレマデ所謂大藏政務次官ト大藏大臣ハ今後ヤツテ貰ヒタイト思ヒマス、マダ申上ゲタイケレドモ、餘リ大藏政務次官ヲイデメルト此ノ次ガ危イカラ我慢シマス

今度ハ商工省デス、今日ハアナタガ今言ウタヤウナ所謂低品位ノ處理方法、又硫化物、所謂磁鐵鐵ノ如キモ外國邊リデハ隨分生カシテ使フ方法ガアルサウデス、日本ニハ隨分多クノ磁鐵鐵ガアルケレドモ、アレハ使ヒモノニナラナイ、硫黃ガ三〇%、或ハ二七%含シテ居ルモノガ幾ラデモアルケレドモ、アレハ兎ニ角使ヒモノニナラヌ、ソレカラ「ニッケル」ノ如キモサウデス、一%或ハ二%位ノモノハ磁鐵鐵ニ含シテ居ルケレドモ、製鑛方法ガナイ、斯ウ云フモノコソ思ヒ切ツテ國ガ豫算ヲ取ツテ研究シテ、捨テル鑛物ヲ生カシテ行クト云フコトガアナタ方ノ役目デハナイデスカ、今ノ產金割増金制度ノ如

キモ、是ハ國ノ法律デモ何デモナイ、大藏省ト商工省デ決メレバ直グ出來ルコトダ、今ノ特殊礦物ノ石炭トカ或ハ銀、銅、鉛、亞鉛、タングステン、斯ウ云ツタ物モ、此ノ間報告ヲ聽イテビツクリシタ、ドウシテモ足リナイ物ヲ外國カラ高イ金デ買ウテ取寄セルヨリモ、我國ニアルモノデ間ニ合ハセ資源開發ヲシナケレバナラヌト云フコトダ、國ノ建前デハナイカト僕ハ思フ、是ハ今カラデモ遅クナイノデアリマスカラ、アナタノ方デ此ノインテキナ、分ラナイヤウナ、胡麻化シタヤウナコトヲセズシテ、公明正大ニ、今政務次官ガ言ウタヤウニ、上ゲタイケレドモ、國民カラ金ヲ取上ゲタ關係上、急ニ上ゲルコトガ出來ナイカラ今苦シンデ居ル——斯ウ私ハ政務次官ノ答辯ヲ解釋スルヨリ外ナイ、併シソレナラバ此ノ補助金ニ付テモ分ラヌヤウナコトヲセズニ、改革ヲシテ賁ヒタイ、ソレデ今ノ硫化物、日本國內ノ磁鐵礦ヲ生カスト云フコトニ依ツテ、初メテ硫酸ノ問題モ解決出來ルシ、肥料ノ問題モ解決出來ルと思ヒマスガ、其ノ問題ニ對シテ鑛產局長ハ如何ニ考ヘテ居ルカ、是ハ眞劍ニ答辯シナケレバイケマセヌヨ、鑛產局長ヲ辭メタラドウデモ宜イト云フ積リデハ駄目デス

○小金政府委員 勿論我國ノヤウナ狀況ニ於キマシテハ、品位ノ惡イ鑛石ヲ處理スルコトニ萬全ノ力ヲ注ガナケレバイカスト云フコトハ、御説ノ通りデアリマシテ、捨テルヤウナ鑛物ヲ利用スルト云フ點ニ於キマシテハ、或ル意味ニ於テ既ニヤツテ居リマス、例ヘバ銅ノ如キハ、外ノ豐富ナ國ノ山デハ捨テルヤウナ品位ノ鑛石ヲ處理シテ居リマス、朴サンノ言ハレルノハ恐ラクサウ

云フ意味デナシニ、例ヘバ雜鑛トシテ扱ハレテ居ル鑛石ノ中ニ、金、銀、銅、鉛、亞鉛ト云フモノガ色々ナ「パーセンテージ」デ入ツテ居リマスノデ、其ノ利用ガ十分デナイト云フ點ヲ御指摘ニナツタノダト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、本當ニ是ハ今研究ヲ進メナケレバナラヌ所デアリマシテ、大學等トモ連絡ヲ致シテ進メテ居リマス、併シナガラ此ノ研究ニ付キマシテハ、更ニ根本的ニドウ云フ風ナ對策ヲ執ツタラ宜シイカ、即チ藥品ノ進歩ト選鑛技術ノ進歩ヲ圖ルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、今例トシテ御指摘ニナリマシタ磁鐵礦ノ利用ガ足ラヌデハナイカ、是ハ御尤モデアリマシテ、今辨柄ノ原料ニシカ使ツテ居ルヌヤウデアリマス、併シ是モ硫酸ノ原料デアル硫化鐵礦ノ材料ニ使ハナケレバナラヌ、又含「ニッケル」ノ磁鐵礦、是等モ相當ニ今研究ガ進メラレテ居ルヤウデアリマス、此ノ方面カラ此ノ鑛石カラ「ニッケル」ヲ得ルト云フコトモ今ノ所可能ダラウト思ツテ居リマス、是等ニ付キマシテ、國立ノサウ云フ試驗所カ何カヲ持ツト云フコトモ一ツノ方法デアリマスガ、今サウ云フモノヲ作リマシテモ、技術者ヲ此ノ方面ニ動員スルコトハ又摩擦ヲ起シマスノデ、今ヤツテ居ル所ヲ刺戟シテ、サウ云フ試驗研究ノ促進ヲ圖リタイト思ツテ居リマス、重大ナ問題トシテ考ヘマス

○朴委員 重大問題トシテ考ヘルト云フガ、是ハ最モ考ヘテ賁ハナケレバナラヌ、今日私ノ申上ゲタノハ雜鑛、所謂亞鉛ニモナラズ、金ニモナラズ、銅ニモナラズト云フモノガ、日本ニハ相當存在シテ居リマスガ、是ハ何レモ其ノ製鍊方法ガ行届イテ居ナイ爲ニ非常ニ困難デアル、細カナコトハ私ハ申上ゲマセヌガ、例ヘバ、或ル製鍊場ニ銅ガ一寸越シテ居ルモノ、ソレカラ亞鉛ガ三〇%或ハ四〇%アルト云フヤウナ場合ニハ、亞鉛ハ採ルケレドモ、銅ハ採ラヌ、然ラバ銅ハ全然捨テルカト云フト、サウデモナイ、亞鉛ハ金ヲ取ツテ、銅ニハ結局金ハヤラナイ、斯ウ云ツタヤウナコトハアナタハ能ク御承知ダラウト思ヒマス、ソレカラ先刻私ガアナタニ申上ゲタヤウニ、磁鐵礦ガ三〇%マデノモノナラバ使フ方法ガアル、所ガ硫黃ヲ二〇%カ一七、八%含シダ場合ニハ今日ハ只捨テテシマフ、何ニモナラナイ、ソレカラ二〇%位ノ物ハモノニナラナイ、ソレハ私共ガ全ク素人デアツテ、世界何レノ國デモ是ハ使ヒモノニナラヌト思ツテ居ツタ、所ガ此ノ間外國ヘ行ツテ歸ツタ人ノ話ヲ聞クト、外國デハ二〇%以上ノ磁鐵礦ガアツタ場合ニハ、立派ナモノニスルト云フコトデアリマス、今日日本ニ於テハ斯ウ云ツタ資源ノ開發ヲ急ガナケレバナラヌ秋ニ、之ヲ捨テテ置クト云フコトハ洵ニ勿體ナイ、是ハ私カラ言ヘバ、喉元通レバ熱サヲ忘レル、足下ニ火ガ落ちナケレバ熱イコトヲ知ラナイト云フヤウナコトヲヤツテ居ル、是ハ實際國ノ建前カラ言ヘバ、本當ニ國ガ以前カラ斯ウ云フコトヲ研究シテ、捨テル鑛物ヲ生カスト云フコトヲシテ置カナケレバナラヌ、今日此ノ事變ガ勃發シテカラアレモ足ラヌ、是モ足ラヌト云ツテ居テ間ニ合ヒハシナイノデアリマス、カラ、局長サンハ是ハ重要ナモノデアアルカラ研究シテ置クト云フコトデスガ、棄テルベキモノヲ生カスト云フコトガアナタノ役目デアリマスカラ、大イニヤツテ賁ヒタイ

ソレカラ大藏省ニ對シテハ、殊ニサツキ申上ゲタ通り、是カラモ商工省ト色々ナ打合セヲシテ行カレルト思ヒマスガ、唯御國ノ建前カラ、ドウシテモシナケレバナラヌト云フモノハ思ヒ切ツテヤル、何モ大藏省ノ役人自身ノ懷カラ金ヲ出スノデハナイ、實行シテ行ケバ宜イノデス、ソレヲ何トカ言ツテ、結局鑛產ノ開發ヲ妨ゲルト云フヤウナコトヲセズニ、此ノ間モ商工大臣ノ言ハレル通りニ、背ニ腹ハ代ヘラレナイ、アレハヨク言ツタト思フ、私ハアレハ立派ナ政治家ノ言葉デアルト思ツテ居ル、背ニ腹ハ代ヘズニヤツテ行カウト云フ位ノ勇氣ガナクテハ増産金ハ不可能デアル、思ヒ切ツテヤツテ賁ヒタイト云フコトヲ政務次官カラ大臣ニ申上ゲテ戴キタイト思ヒマス、兎ニ角アノ雁首ヲ叩キ直スト云フコトヲアナタノ方カラ責任ヲ以テヤツテ賁ヒタイ、是ハ強ク申上ゲテ置キマス、尙ホ大藏省ニ對シテ關聯シテ發言ガアルサウデスカラ、私ハ茲デ一寸中止致シマス

○長谷委員 關聯シテ——今木村政務次官モ御聽及ビノ通り、朴君ハ非常ニ旨イコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、事ニ依ツタラ大藏當局ハ實務家デハナイノデスカラ、割増金制度トカ、獎勵金、補助金トカノ關係ヲ御承知ナイト思ヒマス、事實ヲ申上ゲマスト、今日ノ所ドウシテモ十兩ノ鑛石ヲ處理致シマシテ——但シ萬分ノ二程度ノモノデアリマス、之ヲ處理致シマシテ、採レル金ト云フモノハドレダケカト云フト、マア瓦三圓ト見テ良イ所六十圓デアリマス、所ガ其ノ十兩ノ鑛石ヲ處理スルニハ原價、資材一切ノモノヲ本當「コスト」ニ見テ百五十圓掛カルノデアリマス、サウシタラ其ノ

差額——「ディフレンス」ト云フモノハド
ウシタ宜イカ、其ノ問題ヲ何トカシテ填
補スル對策トシテ今獎勵金トカ補助金トカ
割増金ト云フ問題ガ出タノデスヨ、是ハ能
ク御考ヘ置キヲ願ヒマシテ、商工當局ガ御
説明ノ時ニハ、是ガ非デモ大藏當局ハ鑛物
ノ増産ガ刻下ノ急務デアルト云フ見地ニ立
脚シテ善處セラレタイト思フノデアリマス、
ソレハ朴君ガ縷々言ウテ居ルノデアリマス、
ソコデ今日茲ニ鑛業法中改正法律案ガ出テ
居リマス、所ガ此ノ改正法律案ハ、イザ鑛
倉ト云フ時ニ直チニ著手出來ル所ノ日本全
國ノ鑛業體系ヲ作ラウトスル基本法ナノデ
アリマス、所ガ此ノ基本法ニサヘモ油ガナ
イノデス、金ガナイ、又豫算ガナイ、此ノ
重要ナ基礎ヲ作ラナケレバ、此ノ次ニ増産
體系ヲ強制スル譯ニハ行カス、増産體系カ
ラ更ニ國家管理ノ線ヘ沿フコトガ出來ナイ
デセウ、其ノ最モ第一番目ニ著手シテ居ル
所ノ此ノ基本法ニサヘモ、マダ金ガナイ、斯
ウ云フ風ナ狀態ニ大藏當局ハヨク目ヲ著ケ
テ戴カスト、是ハ中々商工省ダケデ一人歩
キハ出來マセヌノデス、ソコデ大藏當局ニ
ハ此ノ點モ亦御考ヲ願ヒタイ、是ハ商工當
局ハ傍見ヲシナイデ一ツ聞イテ置イテ貰ヒ
タイ、此ノ前ニ五千萬圓デ以テ帝國鑛業開
發會社ガ試案トシテ出タ、所ガ到頭三千万
圓ニ値切ラレテシマツタ、其ノ三千万圓ニ
値切ラレタ根本ハ、朝鮮ト臺灣トヲ抜イテ
シマツタ、帝國鑛業株式會社ノ繩張りハ內
地ダケニナツテシマツタ、何故今日此ノ重
要ナル時局下ニ於テ一本建——所謂圓
「ブロック」内デサヘモ一本建ニシナケレバ
ナラス今日、朝鮮又臺灣ハ日本ノ鑛業開發
ニ對シテ一本建ニナツテ居ナイ、斯ウ云フ

點モ大藏當局ハ少シモ顧念サレテ居ナイ、
ソレハソレ、ノ總督府管下ニ於テ、臺灣
ノ如キハ著手シタイト云フ希望ヲ持ツテ居
ラレルガ、斯ウ云フ風ナ點ニ對シテモ幾多
申上ゲタイコトモアリマスルガ、今後商工
省ガ大藏當局ニ説明ニ行カレマシタナラバ
ドウカ今日ノ鑛產開發ト云フモノガ彈丸ト
ナツテ現ハレテ來ルノデスカラ、或ハ金ト
ナツテ現ハレテ來ルノデスカラ、此ノ金ト
彈丸、此ノ二ツガナカウタラ戦争ガ出來ヌ
コトハ吾々トシテ分リ切ツタコト、國內ニ
於ケル所ノ問題ハ別トシテモ、セメテ此ノ
點ニ關聯致シマシテ、十分ノ御努力ヲ願ヒ
タイ、是ハ希望デアリマス

○木村政府委員 今長谷君カラ縷々産金問
題ニ付テ御話ガアリマシタガ、私共モソレ等
ノ點ニ付キマシテハ御同感ニ考ヘテ居ル點
デアリマシテ、今日ノ時局柄何トシテモ新産
金ノ増産ヲ圖ラナクチャナラス、是ハ國策
トシテヤラナクチャナラス、斯ウ云フ見地
ニ立ツテ從來ノ制度ニ檢討ヲ加ヘテ居ル譯
デアリマス、商工當局トモ十分其ノ點ノ連
絡ヲ取ツテ協議ヲ致シテ居ル譯デアリマシ
テ、別ニ大藏省ト商工當局トノ間ニ、私ハ
今日マデハ存ジマセヌガ、今後ソコニ意見
ノ扨格ト云フヤウナモノガアリ得ル筈ハナ
カラウト思ヒマス、何ト致シマシテモ、先
程朴君カラモ御話ニナリマシタヤウニ、唯
此ノ産金ノ買上價格ヲ上ゲレバ増産ハ必ズ
立ドコロニ出來ル、斯ウ云フコトデアリマ
スルト、是ハ問題ハ簡單デアリマスケレド
モ、併シ必ズシモ皆様方ガ實際ノ仕事ニ從
事セラレテ、唯買上價格ヲ上ゲタカラ果シ
テ増産ガ出來ルカト云フコトニハ、今日ノ
ヤウナ資材ノ缺乏、勞力ノ缺乏、其ノ他運

輸、電力有ユル方面ノ缺乏シテ居ル時ニ、
唯産金價格ノ値上ダケデ増産ニナルカト云
フコトニ付テハ、多大ノ疑問ガアルコトハ
御承知ノ所デアラウト思ヒマス、併シナガ
ラドウシテモ此ノ増産ヲ圖ラナケレバナリ
マセヌカラ、有ユル方法ヲ講ジテ今後此ノ
點ニ付テハ特ニ政府デモ考ヘタイ、斯ウ云
フ積リデ居ル譯デアリマス、商工省トノ關
係等ニ付キマシテハ、御意見ノ通りニ協力
シテ此ノ目的ノ達成ニ努メナケレバナラス
ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○川俣委員 關聯シテ一寸伺ヒマスガ、先
程ノ御答辯ノ中ニ産金割増金制度並ニ獎勵
金ニ付テハ、業者方面、或ハ民間側カラ色
色指摘サレテ居ル缺點ガアルガ、大藏省ニ
於テモ其ノ缺點ヲ認メテ居ルト云フヤウナ
御答辯デアリマシタガ、其ノ缺點トハ如何
ナル點ヲ缺點トサレテ御認メニナツテ居ル
ノデアリマスカ

○木村政府委員 缺點ト私ハ申サナカウタ
ト思ヒマススケレドモ、兎ニ角昨年から實施
致シテ居リマスル割増金制度ニ付テハ産金
業者間カラモ色々非難ガアルヤウデアリ
マス、アア云フ制度デハ結局金ノ増産ニハ
ナラス、斯ウ云フヤウナ意見モアル譯デア
リマスカラ、サウ云フ點ニ付テ十分檢討ヲ
加ヘテ、其ノ制度ノ不備ノ點ハ是非改メナ
ケレバナラス、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル
譯デアリマス

○川俣委員 其ノ不備ナ點ト云フノハ如何
ナル點ヲ不備ダト御考ニナツテ居ルノデス
カ

○木村政府委員 不備ノ點ト民間デ言ツテ
居ル點ハ斯ウ云フ點デアルト云フコトヲ私
ハ茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、從來

カラ吾々ガ總括的ニ聞イテ居ル所デハ、ア
ア云フ風ニ生産シタ後ニ一々計算ヲシテ、
アトデ割増金ヲアル、斯ウ云フヤウナ制度
デハ困ルト云フ話モ私ハ聞キマシタ、隨テ
何トカモウ少シ當初カラ産金業者ニ責任ヲ
持タセテ増産ヲアル、斯ウ云フ方法ハナ
イカト云フヤウナ色々ナ話ヲ聞イタダケデ
アリマシテ、唯一般的ニ正確ニドノ點ガ惡
イ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル譯デアリ
マセヌ、併シ之ニ非難ガアルト云フコトダ
ケハ御承知ノ通りデ、私共モ知ツテ居ル譯
デアリマス、隨テサウ云フ點ヲ申上ゲタ
次第デアリマス

○川俣委員 甚ダ諄イヤウデアリマスケレ
ドモ、如何ナル點ニ缺點ガアルカト云フコ
トヲ認識サレナケレバ檢討スル目標ガナイ
ノデヤナカラウカト思ヒマス、如何ナル點
ニ缺點ヲ見出し、如何ナル點ニ割増金制度
ハ特長ヲ持ツテ居ルカト云フコトガ明ニナ
ラナケレバ産金ノ根本對策ハ私ハ立タナイ
ト思フノデス、私ノ意見ヲ述べマス、
朴君ノヤウニ唯買上價格ヲ上ゲルト云フ
コトニハ私ハ餘リ賛成出來ナイノデス、特
ニ國際價格ニ合セテ上ゲルト云フコトニ
付キマシテハ、私ハ日本ノ鑛物全體ノ價格
ノ上カラ實ハ賛成出來ナイノデス、又獎勵
金制度ニ付テモ私ハ餘リ賛成出來ナイノデ
ス、殊ニ割増金制度ニ付テハ幾多ノ缺點ヲ
私ハ茲ニ指摘シタイノデススケレドモ、ソレ
モ申上ゲマセヌ、大藏當局ハ何處ニ缺點ガ
アルカト云フコトニ付テスラ、ドウモ認識ガ
足リナイノデヤナイカ、唯業者カラ聞イテ
居ルト云フヤウナコトデ、何處ニ一體業者
ノ指摘シテ居ル肚ガアルノカ御存ジニナラ
ナイ、私ハ是ハ業者ノ言フヤウナ缺點ガ

アルト思ヒマス、十三年度ヲ基準ニ致シテ割増金ヲ出スト云フコトニ付キマシテハ、朴サシノ言ハレルヤウニ、或ル會社ガ甲乙丙ノ鑛山ヲ持ツテ居ル所カラ來ル弊害、及ビ十三年度ヲ基準ト致シテ居リマスガ爲ニ、十三年度ニ偶、努力致シタ者ガ損ダト云フヤウナ計算、或ハ十四年度ノ上期ハ鑛石ハ出スケレドモ、十四年度ノ下期ハ寧ロ十五年度ノ方ヘ繰越シテ出シタ方ガ割増金ヲ多ク取レルト云フヤウナ色々ナ計算ガ出來テ居ルヤウデアリマス、サウ云フ缺陷モアリマスルケレドモ、私ハ根本ノモウ一ツノ大キイ缺陷ハ割増金トカ獎勵金トカ、或ハ唯價格ヲ上ゲルト云フコトダケデ産金獎勵ヲ考ヘテ居ル點ニアルノデヤナイカト思ヒマス、例ヘバ石炭ニシテ見マスレバ、石炭ノ生産價格ノ五割カラ六割ハ勞力費デス、ソレヲ勞力ノ對策ヲ持タナイデ獎勵金或ハ補助金或ハ價格ヲ以テ獎勵ノ態度ヲ執ラレテ居ル所ニ大藏省ノ缺陷ガアルノデヤナイカ、寧ロ朴サシノ言ハレル通り、今日ノ勞働賃銀ガ高イ、結局生産費ヲ引下ゲルヨリ外私ハ今日處スル道ハナイト思フ、生産費ヲ引下ゲルニハ勞働賃銀ヲ引下ゲナケレバナラス、勞働賃銀ヲ引下ゲレバ、勞働者ガ得ラレナイ、然ラバドウスルカ、ヤハリ生産費ヲ引下ゲル所ニナケレバナラス、所ガ引下ゲレバ勞働者ハ得ラレナイ、勞力ヲ得ラレナイト云フ所ニ今日缺陷ガアルノデ、此ノ點カラ考ヘ直シテ行カナケレバナラスデヤナカラウカト思ツテ居リマスガ、尙ホ何レ明日大臣ニ御伺シタイト思ツテ居リマス

○木村政府委員 私ハ割増金制度ニ何モ缺陷ガアルト云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デハアリマセヌ、唯割増金制度ニ對シテ世間産金

業者ニ非難ガアル、隨テサウ云フ非難ガアル點ニ付テ、更ニ檢討ヲ加ヘテ是ガ完全ヲ期サナクテハナラス、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデ、大藏當局ガ缺陷ガアル、斯ウ言ツテ居ル譯デハナイノデアリマスカラ、其ノ點ハ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、大藏當局トシテハ此ノ制度ハ昨年から實施シテ居ル譯デアリマスガ、ソレニ對シテ産金業者間ニ非難ガアルカラ、左様ナ點ニ付テハ現ニ檢討ヲ加ヘテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ル次第デアリマス、隨テ又今御述ニナリマシタヤウナ點ハ十分今後此ノ産金獎勵ノ點ニ付キマシテ參考トシテ考ヘナクテヤナラス點デアルト思ヒマス

○朴委員 先刻政務次官ハ所謂値ヲ上ゲタカラト云ツテ金ノ増産ハ出來ルカドウカ蠟問ダト仰シヤツテ居リマスルケレドモ、私ハ無理ナコトヲ大藏政務次官ニ要求シテ居ル譯デハナシ、又サウ云フ質問ヲシテ居ル譯デハナイノデス、唯國際相場ヲ基準トシテヤツテ貴ヒタイト云フノデス、是ハ當リ前ノ話デス、是デ反對トカ賛成トカ云フコトデハナイカ、併シドウシテモ引合スデモヤレト云フコトハ無理ナ話デス、私ハ今ノ國際相場ヲ基準トシテ金ヲ買上ゲ尙獎勵金ヲ大部分與ヘルナラバ、政府ガ計畫シタヤウナ五箇年計畫ハ必ズ實現スルモノト見テ居リマス、モウ一ツハ日本産金振興會社ニ對シテ、是ハ商工省ノ監督下ニアリマスカラ此ノ前私ハ商工大臣ニ申上ゲタノデスガ、是ハ内地ト外地ト切離シテ、外地ハ外地デ責任ヲ持タシ、内地ハ内地デ責任ヲ持ツテヤラスナラバ、今ノ産金ノ増産ノ上カラ言ツテ力強い仕事ガ出來ルノデハナイカト見テ居リマス、同ジ國デアルニシテモ此ノ會

社ニ對シテハ非常ニ「デリケート」ト云ツテハオカシイガ、大體向フカラマツチニ二重手續ヲシナケレバナラスト云フコトト、日數ノ關係、向フニ對スル認識ノ足ラナイト云フコト、又向フハコツチノ認識ガ足ラナイト云フコトト、兩者ノ間ニソシナコトハナイト思ヒマスルケレドモ、大體仕事ガシニクイト云フコトヲ聞イテ居ル、會社ハコツチニ本社ガアルニシテモ、朝鮮ハ七十五廻ノ計畫ノ爲ニ一億九千萬圓ト云フモノハハツキリ使フベキモノデアルガ、ソレニ對スル權限ヲ向フニ持タスベキモノハ持タシテ、内地ハソレニ對シテ餘計ナコトヲシナイ、又向フハ内地ニ對シテ其ノ權限ヲ侵スコトガ出來ナイト云フ風ニシテ、各責任負擔ヲハツキリ持タシテヤルト云フコトハ非常ニ宜イト思ヒマスガ、之ニ對シテハ大藏省ニモ關係スルシ商工省ニモ關係ガアリマスカラ、其ノ事ヲ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 先般豫算委員會ニ於キマシテ、朴サシノサウ云フ趣旨ノ御質問ニ對シテ、商工大臣ハ十分其ノ點ヲ考慮スルト云フ御答ガアツタト私ハ記憶致シテ居リマス、只今内地及ビ外地ノソレノ違ツタ特殊性ヲ考慮シテ、サウシテ朝鮮ノ産金目標デアル所ノ一定數量ニ達スルヤウナ產額ヲ實現スル爲ニハ、其ノ特殊性ヲ考慮ヲシテ相當活動ヲ活動セシメル考ハナイカト云フ御趣旨ノ重ネテ御質問デアリマスルガ、之ニ付キマシテハ大藏省及ビ朝鮮總督府當局ト十分打合せテ至急研究致シタイト存ジマス

○木村政府委員 只今鑛産局長カラ申シマシタヤウニ、朝鮮ハ朝鮮、臺灣ハ臺灣各、増産ニ適當ナル方法ヲ講ズルコトガ必要デアルト思ヒマスカラ、同様デアリマス

○朴委員 是非サウシテヤツテ貴ヒタイト思ヒマス、ソレカラ何時モ同ジコトヲ申スヤウデアリマスガ産金ノ補助金トカ割増金制度ト云フモノハ是非非常ナ非難ガアルト云フコトハ政務次官ノ云フ通りデアリマス、ソコデ之ヲ兩者ノ間デ研究シテ男ラシク、廻リ諄イコトヲセズニ、産金會社ニ對スル便宜ヲ與ヘルコトヲ研究シテ貴ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ鐵道省ノコトデアリマスガ、鐵道省ハ今言ツタヤウナ現在鑛石ニ對スル運賃ノ補助ト云フカ運賃割引ト云ヒマスガ、ソレハドノ程度ノ割引ヲシテ居ルカ、ソレヲ承リタイ

○長崎政府委員 御答致シマス、鑛産品ニ對スル割引ニ付テ御質疑デゴザイマスガ、詳シイコトハ只今茲ニ資料ヲ持ツテ居リマセヌ爲ニ大體ヲ申上ゲマス、第一ハ石炭デゴザイマスガ、是ハ各種産業ノ基礎原料デアリマスト云フヤウナ關係デ、増産獎勵ノ爲ニ普通運賃カラ今回ハ一割五分マデノ割引ヲ行フコトニシタノデアリマス、ソレカラ金鑛、金銀鑛ニ對シマシテハ、是ハヤハリ獎勵ノ目的カラ、從來モ普通ノ運賃カラ四割引、貧鑛ニ對シマシテハ五割引ヲ行ツテ居タノデゴザイマス、ソレヲ今度ハ從來ノ出荷量ニ對シマシテハ普通ノ運賃カラ五割引ヲ行フ、詰リ貧鑛モ貧鑛デナイモノモ同様ノ五割引ヲスル、ソレカラ生産量ガ前年度ヨリモ増加シタ時ニハ、其ノ増産ノ部分ニ對シマシテハ八割引ヲ行フ、實ハ此ノ八割引ト云フヤウナ運賃ハ殆ド運賃ヲ取ラナイモ同様デアリマシテ、全ク運轉ノ石炭代、ソレカラ機關手ノ給料ト云フ程度ノモノデ之ヲ運ブト云フコトニ致シタノデアリ

マス、ソレカラ金銅鑛ニ對シマシテハ、從來ハ普通運賃カラ一割六分程度ノ割引ヲ行ツテ居ツタノデアリマス、是ハ又増産獎勵ノ爲ニ從來ノ出荷量ニ對シマシテハ約二割、増産部分ニ對シマシテハ五割引ヲ行フコトニナツタノデアリマス、鐵鑛、銅鑛、硫黃鑛等ノ重要鑛石ハハ生産力擴充關係物資ノ原料ニナルモノデゴザイマスカラ、從來ノ一割六分引ノ割引ヲ、普通二割引、増産部分ニ對シマシテハ四割引ヲスルト云フ風ナコトニナツテ居リマス、尙ホ石灰石ニ對シマシテモ、金屬製鍊用或ハ硫酸「アンモニア」曹達製造用ト云フモノニ對シマシテハ、從來ノ一割六分引ヲ四分上ゲテ二割引ト致シタノデアリマス、大體申上ゲマス左様ナコトニナツテ居リマス

○朴委員 鐵道省ノ只今ノ説明ニ依リマス、大變鑛産ニ對スル便宜ヲ與ヘテ居ラレト云フコトデ、洵ニ感謝シテ居リマス、尤モサウナクチヤナラナイ、鐵道省ハ相反シタコトヲヤツテ居ルト云フコトヲ言フ人モアリマスケレドモ、今ノ説明ヲ聞キマス、隨分思ヒ切ツタ便宜ヲ與ヘテ居ルト云フコトヲ感ジテ居リマス、ソレカラハハ國有鐵道ダケデスガ、一般私設鐵道ニ對シテハドウ云フ風ナコトニナツテ居リマスカ、ソレモヤハリ今ノ鐵道省ト同ジヤウナ便宜ヲ與ヘテ呉レルノカドウカト云フコトヲ一遍聽カシテ貰ヒタイ

○長崎政府委員 會社ノ鐵道ニ對シマシテハ、斯ウ云フヤウナ高率ノ割引ヲ強制スルト云フ譯ニハ參ラナイト思フノデアリマス、併シナガラ私共ノ方トシマシテハ、ヤハリ政府ノ國策ニ順應スルヤウニ能ク話シマシテ、私只今ハツキリハ存ジマセヌケレドモ、

大體ニ於テ國有鐵道ノヤツタコトニ則ツテヤツテ行ツテ居ル筈デアリマス

○朴委員 國有鐵道ハ今アナタノ説明ノ通りデ間違ナイト思ヒマス、私設鐵道ハ隨分酷イコトヲヤツテ居ル、當然國策ニ副ツテサウアルベキコトヲ、兎ニ角會社ハ相當利益ガアリナガラ、運賃ヲ高く取ル、内地ハドウカ知ラスケレドモ、朝鮮デハ金剛鐵道アタリ實ニ酷イコトヲヤツテ居ル、サウ云ツタコトハ鐵道省ガ力ヲ入レレバ、私ハ鐵道省ノ氣持ニ副ツテ行クノデハナイカト思フ、ソレハ會社ニ損シナガラヤレト言フコトハ無理ナ話ダケレドモ、相當ノ配當ヲ行ツテ居ルヤウナ會社ニ對シテ、國策ニ副ツテ、鐵道當局ノ氣持ト同ジヤウニヤラセルコトデス、鐵道省ノアナタ方ガサウ云フ監督幹旋ヲ執ラネバナラス立場ト思フノデアリ、私設鐵道ニ對シテ是カラ徹底的ニヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ希望スル次第デアリマス

○櫻井委員長 朴君、只今ノ御話ハ大切ナ點デスガ、答辯ヲ求メラレタラドウデスカ、總動員ノ精神ニ照シテ見テモ、國策上ソレ程重要性ヲ認メテ國ガ割引シテ居ルノニ、國ノ鐵道ノ監督下ニアル私設鐵道ニ對シテ、ドウ行ツテ居ルカハツキリシナイヤウナ御答辯デハドウカト思ヒマス、法律的ニハ命令ハ出來マスマイガ、監督上相當ヤハリ國策ノ線ニ沿ウタ方法ヲ執ツテハドウカト云フコトヲ鐵道省カラ勸告サレテハドウデアラウカ、ソレデナケレバ私設鐵道ヲ利用スルモノト國有鐵道ヲ利用スルモノトノ間ニ非常ナ不公平ガ出來ル、是ハ鐵道省ノ方針トシテ勸告セラレルコトノ御答辯ハ如何ナモノデセウカ

○長崎政府委員 先程ノ私ノ説明ガ少シ足ラナカツタヤウニ思ヒマスガ、只今委員長ノ御注意又朴サンノ御話ノ通りデアリマシテ、之ヲ強制スルコトハ致シテ居リマセスガ、サウ云フ風ナ線ニ沿ツテヤレ、ヤツタラドウダト云フ通牒ハ出シテ居リマス

○朴委員 一ツ責任ヲ以テヤツテ戴キタイ、鐵道省ハソレデ宜ウゴザイマス、ソレカラモウ一ツ鑛産局長ニ御伺シタイノハ、産金ノ問題ヲ離レテ、特殊鑛物ノ獎勵ト云フモノハドウナツテ居リマスカ、特殊鑛物、詰リ今言ツタヤウナ亞鉛、鉛、「タンダステン」、「モリブデン」ト云フモノニ對スル補助ハドウナツテ居リマスカ

○小金政府委員 銅、鉛、亞鉛、錫、所謂金、鐵、石炭ヲ除イタ吾々ノ方デ重要鑛物増産法ノ謂フ重要鑛物デハアリマセスガ、今舉ゲタモノヲ除イタ重要鑛物ノ増産ヲ圖ル爲ニ、色々ナ施設ヲヤツテ居リマスガ、其ノ第一ハ從來是等ノ鑛物ヲ探ス爲ニ鐵モ「マシガン」モ入ツテ居リマスガ、重要鑛物探鑛獎勵金ト云フ制度ヲ設ケテ居リマス、是ガ從來百萬圓チヨット超エテ百七百萬圓バカリデアリマシタガ、之ヲ今回百五十萬圓ニ増加致シマシタ、是ハ探鑛ヲ急グ必要ガアリマスノデ、探鑛ノ方ノ獎勵金、次ニ所謂銅、鉛、錫、亞鉛、或ハ硫化鐵ト云フモノガ相當或ル地方ニ固ツテアリマス、サウ云フ場所ニハ選鑛場ヲ設ケテ方々ノ山カラ出テ來ル鑛物ヲ一貫シテ選鑛スル運搬費モ少イ、勞力モ忙ガシイ時デ運搬方モ助カルト云フノデ、鑛物ヲ多ク利用スルト云フ見地カラ選鑛場ヲ建テルモノニ助成スル必要ガアル、是等ノ選鑛場設置助成金トシテ本年新二百二十萬圓ヲ計上致シテ居リマス

○朴委員 今マデハ特殊鑛物ニ對シテノ補助ト云フモノハナカツタノデアリマスカ、私ハナカツタト思フノデスガ、今後特殊鑛物ニ對スル範圍ハ——詰リ鉛トカ亞鉛トカ硫化鐵トカ銅トカ鐵、或ハ「タンダステン」トカ「モリブデン」トカ錫トカ、斯ウ云フモノハ、ヤハリ今ノ補助ヲ貰フベキ中ニ入ツテ居リマスカドウカ

○小金政府委員 只今朴サンガ御舉ゲニナリマシタ鑛物ハ、全部重要鑛物探鑛獎勵金ヲ貰ヒ得ル鑛物デアリマス

○朴委員 ソレカラ此ノ前モ局長サンニ申上ゲマシタガ、分析ノ問題デアリマス、是非ハ非常ニ非難ガ多イ、御存ジノ通り中々金銀等ノ分析モ全ク間違ヒナカヤルノニハ、相當設備ガナクテハナラヌ、針ノ先ホド違ツテモ大變ノ相違ガアル爲ニ、民間ノ方ハ分析ニ對シテ非常ニ苦勞シテ居ル、又ソレニ對シテ胡麻化サナクテモ胡麻化シタト云フ非難ガ多イコトハ、局長サン御存ジダウト思ヒマス、是ハ到ル所ノ鑛山監督局ノアル土地ダケハ必ズ國ガサウ云フ民間ノ疑ノナイヤウナ責任ヲ持ツタ分析所ヲ作ツテ貰ヒタイ、其ノ分析所ハ本當ニ實費デ分析シテ呉レテ持ツテ行ケバ直グ翌日分ルヤウナ設備ガ至急必要デハナイカト云フコトヲ、此ノ前ノ局長ニ要求シテ居リマシタノデスガ、其ノコトハ今日ドウナツテ居リマスカ

○小金政府委員 各鑛山監督局内ニハソレゾレ分析課ヲ設ケテ居ル所モアリマス、又分析係ヲ設ケテ居ル所モアリマス、分析課ヲ設ケテ居ル所ハ東京及ビ大阪ノ二箇所デアリマシテ、他ハ分析係ヲ設ケテ居リマス、ソコデ朴サンノ豫定カラノサウ云フ御話モアリマシタシ、民間ノ要望モ相當強イ

ノデ、サウ云フヤウナコトヲ察知致シマシ
テ、今申上ガマシタヤウニ、鑛山監督局ノ
分析ノ係或ハ課ヲ擴大致シマシテ、成ベク
利用ニ應ズルヤウニ致シテ居リマス、併シ
ナガラハ今今朴サスモ御話ニナリマシタヤ
ウニ、相當精密ナ設備ヲ要シマス、又不精
密ナ設備デヤラレタノデハ非常ナ弊害ガ起
リマスノデ、其ノ間一寸痛シ痒シノ點ガア
リマス、併シ御希望ニ副フヤウニ成ベク致
シタイト云フコトハ、地味ナ仕事デアリマ
スケレドモ、ソレダケニ私共ハ力ヲソナラ
ニ加ヘテ居リマス、尙ホ買鑛ノ關係ニ付テ
ハ帝國興業開發會社ハ大キナ精鍊場ニ附屬
スル「サンプル・ミル」ト申シマスモノヲ設ケ
テ買受ケ、或ハ場合ニ依ツテハ委託致シマシ
テ、ソコダ嚴格ナ分析ヲヤリタイ、斯ウ云
フ計畫ヲ持ツテ居リマス、日本産金振興會
社ノ分析所モ東京市内ニ相當工事が進捗致
シテ居リマス

○朴委員 ソレハ言フマデアリマセスガ、
大切ナコトト私ハ思フ、買鑛ニ付テハ買鑛
者ガ分析シテ何「パーセント」ト云フモノヲ
決メテ、ソレガ自分ノ腑ニ落ちナイ場合ハ
再分析ヲヤラウトシテモ、今言フヤウニ民
間デ小サクヤツテ居ル所ハ當テニナラナイサ
ウ云フ惱ミハ相當ナモノデス、ソコデ分析所
ハ大阪東京ニ於テモ形ナガラヤツテ居ルガ、
本當ニ信用アル分析ヲヤラウトスレバ少ク
モ一箇月位掛カル、サウ云フコトガアルカラ、
東京ノ鑛山監督局ノ中ニ設ケテ鑛山者ニ對スル
便宜ヲ與ヘルト云フコトハ、有ユルモノ、
金、銀、鐵、石炭モ大分サウ云フ間違ガ起
ツテ居ルカラ、ソレ等ヲ是非ヤツテ貫ヒタ
イ、鑛山ヲヤツテ居ル人達ガ商工省ニ例ヘ
バ調ベテ貫ヒタイトカ、役人ニ御尋スルト、

殆ド劍モホロト云フカ、迎モ不親切ナ取
扱ヲスル、是ハ私共ガ行ツテ見ルト、サウ
云フコトハナイト思ヒマスガ、是モ相當非
難ガアルト云フコトデス、所ガ鑛山ヲヤツ
テ居ル人ニハ寧ロ商工省ノ鑛山監督局ノ下
ニ相談部位ノモノヲ設ケテ、サウシテ其ノ
人等ノ相談ニ親切丁寧ニ取扱ツテ呉レルナ
ラバ宜イト思ヒマスガ、局長サンハドウ考
ヘテ居リマスカ

○小金政府委員 鑛山行政ノ第一線ニ立ツ
役人ノ事務ノ取扱ニ付キマシテハ、十分今
後注意致シマス、尙ホ鑛山開發ノ爲ノ相談
部ト云フヤウナモノヲ、鑛山監督局ニ置イ
タラト云フ御説ハ、洵ニ御尤モト存ジマス
ガ、唯只今ノ所ソレ等ノ任ニ當ル專門ノ職
員トカ場所トカ云フモノノ關係デ、俄ニハ
設置出來マセスケレドモ、昨年ノ夏鑛山監
督局ノ機構ヲ變ヘマシテ、施設課ト云フヤ
ウナモノヲ設ケテ、出來ルダケ其ノ仕事ニ
當ルヤウニ致シテ居リマス

○朴委員 モウ時間モサウナイノデアリマ
シテ、私ガ唯鑛山局長ニ附加ヘテ申上ガタ
イト思フコトハ、利得稅ノ問題デアリマス、
アレハ中々弊害ガ多イノデアリマス、先刻
擔任ノ大藏政務次官ノ言フニハ、國ノ爲ニ
二割三分、二割五分位ノ税金ヲ納メルノハ、
國民ノ義務ダト云フヤウナコトヲ言ツテ
居リマシタガ、税金ヲ納メルコトニ對シテ
ドウ斯ウ言フノデハナイノデアリマス、ソ
レハ無論利得稅デアリマスカラ、儲カツタ
者ニ對シテ二割五分納メロト云ヘバ、納メ
ルノハ當然デアリマス、所ガ乙ト甲ト丙ト
山ヲ持ツテ居ル者ニ對スル割當、詰リ甲ハ
儲カツテモ乙、丙ガ損ヲシタ場合モ、何等考
慮セズ稅ヲ取ルコトハ不當デハナイカト思

フ、私ハ先刻大藏省ノ事務次官ノ大野ト云
フ人ヲ攻撃シタコトニ付テハ、私ハ次ノヤウ
ナコトヲ聽イテ居リマス、アノ人ニドウモ
此ノ割増金制度ガ惡イトカ、斯ウ云フコト
ハドウトカ言ツテ相談ニ行クト、好イ加減
ニアシラツテ、ロデハ言ハヌガ、オ前達ハ國
賊デヤナイカ、儲カツテ居ルノダカラ、出シ
タラ宜イデヤナイカト言ツテ威張り散ラカ
シテ、ドウモヒドク威カサレテ來タト云フ
コトダ、此ノ前朝鮮カラ來タ朝鮮ノ鑛業界
ノ、是ハ朝鮮デ一番大キイノデスガ、其ノ
人等ガ例ノ今度ノ割増金制度ニ對スル不滿
デ陳情ニ來タ、商工省ヘ行ケバ、南工省ノ
方デハ隨分親切ニ取扱ヒマシテ、必ズサウ
云ツタヤウナコトモ考ヘルト云フコトヲ聽
イテ満足シタガ、兎ニ角大藏省ノアノ大野
ト云フ事務次官ニオ目ニ掛ツテ、斯ウ云フ
點、アノ人等ハ自分達ガ專門家ダカラ、専門
的ニ吾々ヤル者ノ立場ガ困ルカラ、之ヲ改
正シテ貫ヒタイト云フコトヲ陳情ニ來タ、
サウシテ面會ヲ求メタ所ガ、初ハ會ハナイ、
二度目モ會ハナイ、三四回足ラ運ンデ行ツテ
初メテ會ツタ、其ノ時ノ態度ハ非常ニ惡カ
ツタ、コツチガ一生懸命ニ其ノ人等ニ話ヲシ
テ居ルノニ、横向イテ聽イテ居ル、サウシ
テ終ヒニ君達ハ兎ニ角斯ウ云フ際ダカラ、
多少犠牲ニナツテモ宜イデヤナイカト云フ
ヤウナ言葉デ、マルキリ頭カラ威カシタト
云フノデアル、此ノ際ダカラ多少犠牲ニナ
ツテモ宜イト云フコトハ、大財閥ニ對シテ
言フコトデアアル、國家ノ爲ニ多少犠牲ニナ
ツテモ宜イナドト云フコトハ、是ハ持ツ人
ニ對シテ言フコトデアツテ、其ノ人等ハー
一般的ノ此ノ日本ニナクチャナラヌ物ノ増産
計畫ヲスルニハ、同ジヤルニシテモ弊害ア

ル補助ト云フモノハ改正シタドウカ、斯
ウ云フノデ態、朝鮮カラ陳情ニ來テ居ル、
ソレニ對シテ兎ニ角横ヲ向イテ居ツテ、オ
前達ハソソナコトヲ言ツタツテ、俺位ノ財
政通ト云フモノハ日本デ減多ニアルマイト
云フヤウナ大キナコトヲ言ウテ、サウシテ
威カシテ歸シタ、コンナ不愉快ナコトハ朴
サンアリマセスト言ツテ、其ノ人等ハ憤慨
シテ先ヅ僕ノ所ニ來タ、サウ云ツタヤウナ
人デアリマスカラ、此ノ事モ商工省ノ鑛山
局長ニ御考ヲ願ヒ、サウシテ大藏省並ニ總
テ要求スベキモノヲ要求シナケレバナラス
立場ニアルノダカラ、有ユル鑛物ニ對シ
テ眞劍ニ一ツアタノ方デ考ヘテ戴キタ
イ、ソレカラ今度ノ割増金制度ハ、私共
二人先程申上ガタ通り能ク分ラナイ、分
ラナイト云ツテ、先刻ノドノ點ガ分ラナイ
カ、ドウ云フコトガアルカ、マア是全
體分ラナイコトニシテアルノダカラ、詰リ
謂ハバ鑛山カラ日本銀行ニ納メタ金其ノモ
ノニ對シテ、日本銀行ハ幾分其ノ利得ノ
アツタ者、其ノ鞘ガアツタ者ニ對シテ、再
ビ其ノ人等ニ負擔ヲ與ヘルト云フコトヲシ
テ居ルカラ、是ハ私ハ一番ヒドイノデハナ
イカト思フ、ダカラハ是ハ分ラナイ、サウ云
フコトガコンガラガツテ居ル、ダカラハカ
ラデモ遅クナイカラ、後日此ノ制度ガ惡イ
ト云フ、一般國民カラノ非難ガアルベキコ
トハ當然デアアルカラ、鑛山局長ハ直シテ然
ルベキダト私ハ思フ、ソレカラ鑛岩機ノ補
助、ソレカラ探鑛補助、斯ウ云ツタヤウナ
非難アルベキコトヲ、一ツ商工省カラ直シ
テ、能ク分ルヤウニシテ貫ヒタイ、サウシ
テ今ノ大藏省ノ政務次官ミタイニ、一遍ニ
引上ガル譯ニモ行カスカラ、其ノ代リニオ

前達ニ是ダケノ國際相場ニ昂上ゲルヤウニシテヤルノダト云フコトヲ、ハツキリ此ノ產金業者ニ對シテ分ルヤウニシテ貰ヒタイ、ソレニ對シテ内地ヲ通ジテ、商工省ハ責任ヲ以テヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ、局長サシニモウ一度答辯ヲ求メタイト思フ

○小金政府委員 只今御指摘ニナリマシタ増産金買上規則、是ハ大藏省令ニナツテ居リマシテ、大藏省ノ立案竝ニ實施ト云フコトニ相成ツテ居リマスルガ、私ノ方ニモ相談ガアリマス、朴サンガ御指摘ニナリマシタヤウニ、中々複雑デ分リニクイ規定デアリマス、ドウ強辯致シマシテモ、複雑デ分リニクイト云フコトハ、私モ全く同感デアリマス、ソレカラ尙ホ今御説明ニアリマシタヤウニ、產金業者、採算點、即チ算盤ノ方カラ行キマシテモ、亦鑛物ノ品位ノ點、即チ自然的條件ト云フヤウナ方面カラ見マシテモ、必ズシモ良イ方ニバカリハ向ツテ居リマセヌ、殊ニ唯國ノ爲ニ金ヲ出セ、鑛物ヲ出セト云フコトヲ、私共ハ決シテ強ヒル譯デモナシ、又サウ云フコトモ出來マセヌ、一方ニ於テ勞力及ビ資材其ノ他ノ物資ノ配給ニ、出來ルダケ私共トシテ力ヲ注ギ、同時ニ只今申シマシタ増産部分ニ對スル割増金ト云フヤウナ制度ニ付キマシテモ、モウ少シ分リ易ク、サウシテ採算ノ基準ヲ示サウナ方法ニ致シタイ、斯ウ云フ意味デ十分努力致シマス

○朴委員 私ハ大藏大臣ガ來ラレナカツタノハ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスガ、今日ハ大變長イ時間費シテ居リマスカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○櫻井委員長 長谷長次君

○長谷委員 私カラ御質問申上ゲタイ點ハ、成ベク前者ノ朴君ガ言ハレタコトニ關聯シテ、マダ御答辯ノ御氣持ノ去ラナイ間ニ於テ、其ノ點カラ先ヅ御質問致シテ參リマス、今ノ製鑛所ノ問題デアリマスケレドモ、是ハ今日ノ重要鑛物竝ニ之ニ關聯シタモノノ獲得ニ付キマシテ、政府ノ方デハドウ云フ風ナ國策ヲ持ツテ居ラレノカ、重要鑛產物ノ開發ニ對スル政府ノ國策デアリマスガ、是ハ私個人ノ意見ヲ申上ゲマス、落チル先ハマア今日ノ大勢カラ見マシテ、製鑛所ノ國營ト云フ問題ニ落チルダラウト思ツテ居リマスガ、私ノ今申上ゲルコトガ參考ニナリマシタラバ幸デアリマス、先ヅ民間側ガ獲得致シマシタ重要鑛產物ヲ統制販賣スル會社法案、サモナケレバ今ノ製鑛所國營法案、此ノ二點ヲ獲得セラレル必要ガアリハセスカ、ソレカラ其ノ前提トシテ重要鑛產物ノ増産ニ對スル所ノ、強制規定ヲ増加セラレル必要ガアルノデハナイカ、其ノ更ニ前提ガ今同御提出ニナリマシタ所ノ本件ノ立案デアリマス、此ノ點ハ私見デアリマスガ先ヅ御同致シマス

○小金政府委員 鑛物ノ増産ヲ圖ル立場カラ鑛物ヲ買取り、又ハ販賣スル一ツノ權限ヲ國ガ持つ、或ハ斯ウ云フ機關ヲ作ルコト、或ハ製鑛所ヲ國營ニスルコト、ソレカラ重要鑛物ノ増産ヲ更ニ強化スル何等カノ措置ヲ採ルコトト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、重要鑛物増産ト云フ見地カラ色々檢討サルベキ問題ダト思ヒマス、併シナガラ現在ノ狀況ニ於キマシテハ、是等ノコトモ急激ニ其ノ方向ニ向ツテ實施シナケレバナラヌト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、唯製鑛所ノ經營トカ鑛物ノ動キトカニ付キ

マシテ、將來或ハ今後國ガ計畫ヲ益、遂行シテ行ク際ニ於キマシテ、其ノ途上ニドウ云フ風ナ見地カラ、斯ウ云フ問題ヲ取扱ツタラ宜イカト云フコトハ、常ニ心掛ケテ置カレベキ性質ノ問題ダト思ヒマス、今度ノ試掘權ノ制度ノ改正ノ如キハ、長谷サシニハ十分御諒解ヲ得テ居ルト存ジマスガ、是ハモウ何モ彼モ全部ノ其ノ下ヲ流レテ居ル所ノ最モ基本的ナ、根柢的ナ問題トシテ提案ニナツタノデアリマス

○長谷委員 唯御注意マデニ少シ附加シテ置キマス、製鑛所ノ國營ノ問題ト云フモノハ斯ウ云フ點ニ立脚シテ居リマス、成程今日ハ非常時下デスカラ、ソレニ關聯シタ所ノ職員ガ能率ヲ低下スルコト云フ風ナコトハ、餘リ考慮セラレヌカモ知レマセヌ、ソコデ此ノ缺點以外ノ所ハ私全部賛成シテ宜イ意見バカリデハナカラウカト思ツテ居リマス、ソレハ朴君ガ先程指摘致シマシタヤウニ、實鑛ノ際ニ於キマシテ買方ノ側ハ實ニ極メテ巧妙ニ貧鑛バカリヲ取上ゲル、ソレカラ分析デモ一番最後ノ粹ヘ落チテ來ル時ニ、落チテ來タモノヲ分析スルノデアリマスガ、四ツニ分ケテ居ル時ニ其ノ中ノ一ツガ非常ニ良クテ、後ノ三ツガ全部惡イト云フコトガ殆ド金ノ場合ハ原則デアリマス、所ガ其ノ三ツニブツ突ツタモノハ災難デアリマス、是ハ現ニ東京ノ鑛山監督局ニモ其ノ事例ガアリマス、左様ナ譯デ四ツノモノ「ミーン・バリー」ヲ出シテ貰フトマダ結構ナノデアリマスガ、分析デサヘモ斯様ニ至難デアリマス、況シテ民間側ガ分析ヲ擔當致シマス、インチギヤルト云フコトハ是ハ當然ナ話デアリマス、ソコデ出來ルコトナラバ、現在製鑛場ヲ或ハ分析室ヲ

立合ノ上デ、一ツヤラシテ貰ツタラドウカ、是ハ實ル方ノ側カラ見タナラバ洵ニ當然ノコトナノデアリマス、斯様ニ色々ノ缺陷ヲ考慮致シマシテ、セメテ此ノ分析關係ノモノトカ、製鑛所ノ關係ノモノガ、國營ニナツタラ宜カラウデヤナイカト云フ立案カラ來テ居ルノデアリマス、此處デ氣持ガ大分晴レル、之ヲ私ノ希望トシテ申上ゲテ置キマス

ソレカラ第二ノ質問ヲ致シマス、今回問題ニナツテ居リマス所ノ三十三條ノ二項デアリマスガ、是ハ赤裸々ニ申シマス、三井サントカ三菱サントカ住友サノヤウナ、澤山ニ鑛區ヲ持タレテ居ル所ノ會社ハ、非常ニ御困リノコトガ出テ來ルデアラウト思ツテ居リマス、ナゼナラバ山勘デ相當ノモノヲ持ツテ居ラレマスガ、之ヲ整理シナケレバナラヌ時期ガ四年後ニ來ルノデアリマス、茲ニ非常ナ苦痛ガ伴ツテ來ルダラウト思ハレマス、其ノ理由ト致シマシテハ、モウ申上ゲルマデモアリマセヌガ、此ノ休眠ノ形ニナツテ居ルモノヲ調査致シマシテ、ソレニ著手致シマスマデニ、相當ノ時間ガ要リ、且又其ノ資材、勞働力等ニ於キマシテ、今日非常ニ缺クル所ガアルノデアリマス、ガカラ最良目ニ見マシテモ、是等ノ澤山ノ鑛區ヲ持タレテ居ル所ノ大資本家ト云フモノモ、非常ナ苦痛ナ立場ニ立タレト云フコトハ現實デアリマス、ソコデ此ノ點ニ關聯致シマシテ、是カラ四年後ニフリ落サレテ來ル所ノ鑛區ガ相當澤山アルノデアリマスガ、之ヲ先ヅ顧念セラレナケレバナリマセヌ、ソレカラ第二ノ問題ハ弱少鑛業者デアリマス、此ノ弱少鑛業者ニ對シテ、何ヨリモ理窟拔キデ鑛山監督局ノ御努力ヲ願ハ

ナケレバナラス筋ノモノガアリマス、ソレヲ重點ニ於キマシテ、今日はカラ御質問申上ゲタイト思ヒマス

○櫻井委員長 長谷サン成べく要點ヲ御話願ヒマス、今日ハ時間モモウ經過シテ居リマスシ、殊ニアタノ御都合ニ依ツテ今日御許シテ居ルノデスカラ

○長谷委員 承知致シマシタ、簡單ニ申シマス——ソコデ貧礦處理ノ問題ヲ除外致シマシテモ、是ハモウ申スマデモナク今日ハ機械力ヨリ以外ニハナイ、研究力以外ニハナイ、ソコデ私ハ優良礦ノ開發ニ對スル問題ヲ申上ゲマス、今日商工省ノ下ニ介在スルモノハ鑛山監督局ニ、ソレカラ產金振興會社、帝國鑛業開發會社、斯様ナモノガ中間ニアリマシテ、今民間側ノ鑛業者ヲ指導監督致シテ居リマス、所ガ今日ノ立場カラ行キマシテ、アノ四箇年間ニ於キマシテ、假ニ此ノ鑛區ハ非常ニ優良ナル鑛區デアルト云フコトヲ、鑛山監督局ガ認定致シマス、或ハ產金振興會社ガ之ヲ認定致シマス、認定致シマシタ時ニ其ノ「プラン」ヲ產金振興會社ニ持ツテ行ツテ、實ハ金ガ足リナイカラ金ヲ借りタイ、鑛山監督局ノ證明ヲ持ツテ產金振興ニ行ツテ、金ト物ガ欲シイノダ、斯ウ言ツテ出タ時ニ萬一ソレガ別ネラレト云フト、後四年間ノ試掘立派ナ鑛區ト分ツタトシテモ、產金振興會社ト帝國鑛業開發會社ガ頭ヲ振ツテシマツタラ、到底此ノ問題ハ解決シナイ、優良鑛區ガ採掘權ニ變リ得ナイノデアリマス、所ガ今日ハ、モウ惡イコトハ申上ゲマセスガ、吾々ガ此處デロニスルコトノ出來ナイヤウナコトヲ、產金會社ソレ自身ガヤツテ居ル、鑛山監督局ノ方々ハ手ガ足ラ

ナイノデス、何處カラ考ヘテ見テモ色々ノ點ニ於テ金ト人、此ノ二ツノ問題ニ絡ンデ此ノ四箇年間ノ試掘權ガ採掘權ニ變ル其ノ機會ト云フモノニ於キマシテ、或ハ一切ノ鑛物ガ増産ニ非ズシテ減産ニナル疑ガアリハセスカ、斯ウ心配シテ居ルノデアリマス、徹底的ニ產金振興會社ナリ帝國鑛業、開發會社ニ對シテ、人ヲ替エルナリ組織ヲ變ヘルナリ、性格ヲ變ヘルナリ致シマシテ、優良鑛ト認定セラレタモノニ對シテハ、必ズ政府ノ方ニ於テ責任ヲ以テ鑛區ノ採掘權ニ移ルダケノ努力ヲシテ戴ケルカドウカ、之ヲ聽キタイ

○小倉政府委員 製鍊所ノ分析ニ付キマシテ一言附加ヘテ置キマスガ、資料ヲ取ル際ニハ官吏ガ立會フヤウニナツテ居リマス、是ハ運用シナケレバ何ニモナリマセス、ソコデ、此ノ運用ニ付キマシテハ十分心懸ケマス、今御質問ニナリマシタ鑛業法第三十三條ノ二ヲ削除スル結果、相當多數ノ鑛區ヲ包容シテ居ラレ尙デ、試掘ガ出來ナカツタリ、或ハ試掘ノ結果鑛業ノ價值ナシト云フコトデ、其ノ儘期限ガ切レタヤウナ場合ニ於テ、是等ノ振落サレタ鑛區ニ對スル取扱ヲドウスルカト云フ御質問デアリマスガ、此ノ試掘ヲ爲シマシタ結果、採掘權ニ編入サレタモノハ、ソレハ採掘ニ著手スルカ又ハ豫備鑛區或ハ保護鑛區ト云フヤウナ名前デ呼バレテ居リマス形ニ於テ、保存サレテ行ク、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、敢テ此ノ資料努力等ノ不足勝テノ際ニ、此ノ試掘ヲ四年間デヤラナケレバナラスト云フコトニ付キマシテハ、御諒承ヲ得テ居リマスカラ、其ノ點ニ付キマシテハ洵ニ有難イコトト存ジマスガ、此ノ振落サレ

タ鑛區ニ付キマシテハ全然放置サレル場合モアリマセウシ、又他ノ方ガ出願ヲシテ、昔某ガ所有シテ居ツタノダカラト云フノデ根氣好ク又試掘ヲシ、或ハ探鑛ヲスルト云フヤウナコトガアルト存ジマス、是等ノ點ニ付キマシテハ更ニマダ良イ方法ガアリマスレバ、是ハ國策會社モ二ツアルコトデアリマスカラ、十分考慮致シタイト存ジマス次ニ中小ノ鑛山、是ハ我國ハ貧礦處理ヲヤツテ行カナケレバイカスト云フコトト併行シテ、中小ノ鑛山ヲ開發シナケレバイカスト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、ソコデ監督局ガ優良鑛區デアルト云フヤウナ認定ヲシタモノニ關シマシテハ、是ハ日本產金振興會社或ハ帝國鑛業開發株式會社ノ活動ニ付キマシテ徹底的ノ助力ヲ私共ハ決意致シテ居リマス、其ノ爲メ必要ガアレバ、必要ナル手段ヲ講ズル決心デ居リマス

○長谷委員 今ノニ附隨致シマシテ、希望ヲ一點ダケ加ヘテ置キマス、ソレハ現在ノ大學、並ニ專門學校ノ鑛山關係ノ人達ヲ動員スルコトモ、今日非常時下ニ於テ必要デアリマス、鑛山監督局員ノ増加ト云フコトモ必要デスガ、是ガ大切デス、ソレカラ更ニ此ノ產金トカ開發ノ技師ヲ十分御監督願ハストイケマセス、サウデナイト此ノ中間ニ居ル者ガ全クダラシガナイヤウナ狀態ニアツクンデハ、絕對ニ完全ナル地理ノ分布圖ハ出來上リマセス

次ニ御尋致ス問題ハ商工省ハ全體ト致シマシテ、先ヅ鑛山開發ニ對スル所ノ根本ノ問題ニナル資料、此ノ資料ト云フノハ手取リノ資料デス、此ノ資料ト云フモノヲ基準ニ於テ之ニ對シテ色々「アレシメント」ヲシテ行カナケレバナラナイ、其ノ手取

リノ資料ノ確保ノ根柢ガアルカドウカ、私ハアレト考ヘマス、ソコデ御尋致シタイノハ其ノ資料ヲ何處ハ重點ヲ注イダラ宜イカト云フ問題デアリマス、是ハ二ツノ見方ガアルト思フ、先ヅ第一ノ見方ハ日本全國ニ多クノ金並ニ重要鑛物ノ分布ガアルガ、金ナラバ先ヅ臺灣ニ重點ヲ置クトカ、朝鮮ニ重點ヲ置クトカ、北海道ニ重點ヲ置クトカ、是ガ地理、氣候、風土、勞働力、一切ノ關係ニ於テ一番歩留リノ良イ所ニ重點ヲ置カナケレバナラスコトハ當然ノコトデアアル、資料ガ足リナイ、ダカラ重點ヲ資料ニ置カナケレバナラス、地理的ニ見マシテ重點ヲ置カナケレバナラスト思フ、第二番目ノ點ハ是ハ鑛業ノ種別ニ依ツテ、鑛物ノ種別ニ依ツテヤツテ行カナケレバナラス問題ダト思ヒマス、何ガ無クテモ金ガアレバ物ガ買ヘル、サウスレバ金ガ一番ダ、何ガナクテモ鐵砲ノ彈ガアレバ宜イノデスカラ、鐵砲ノ彈ノ資料ガアレバ、是カラ其ノ次ニ大切ナモノヲ順次決メテ行ツタラバ、日本ノ現在ニ於ケル所ノ重要工作物ノ中ノ順序ガ決マル譯デアリマス、サウシタラ第一番目ノモノニ全力ヲ注ガレタラ宜イノデアリマス、所ガ殘念ナコトハ唯一ツ關聯シタ時ノ途中ノ物資ガ足リナイガ爲ニ、全部ノ仕事ガ出來ナイト云フ情勢ニアル、護謨ガ足リナイガ爲ニ、「ドリル」ガ足リナイガ爲ニ配線ガ足リナイガ爲ニ、勞働力ガ足リナイガ爲ニ、唯一ツノ物ガ足リナイガ爲ニ全部ノ仕事ガ出來ス、サウ云フ半端ナモノガ各産業ニアルノダ、鑛山ノ中ガサウ云フ風ナコトデハ絕對ニイケナイ、此ノ調整ヲスル根本ガ即チ鑛物ノ順位ヲ決メルコトデアアル、鑛物ノ順位ヲ決メテ資料

第六類第六號 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄 第六回 昭和十五年三月四日

ヲ之ニ與ヘテ行カナケレバナライ、金ガ欲シケレバ金ニ全部ノ資材ヲ與ヘテ、而シテ餘ツタ物ヲ鐵ニ與ヘル、石炭ニ與ヘル、而シテ餘ツタ物ヲ銅ニ與ヘル、特殊鋼ニ與ヘル、斯ウ云フ風ニシテ行カナケレバ、金山ノ連中ハ残念ナガラ一ツノ物ガナイ爲ニヤレナイ、鐵山亦然リ、斯ウ云フ跋行的ナ情勢ヲ其ノ儘ニ置イテハ、絕對ニ現在ノ重要鑛產物ハ開發サレマセヌ、此ノ二ツノ立場カラ行キマシテ、政府ト云フモノガドウ云フ取扱方ヲ取ラナケレバナラヌカト云フコトハ、十分御考ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、私ハ詳シク説明ハ致シマセヌガ、此ノ點ニ關聯致シマシテ、御答ガアリマシタラ承リタイト思フ

○小金政府委員 鑛山用資材ノ確保ノ途ニ付キマシテハ、十分計畫モ持ツテ居リマスシ、具體的ニ關係方面ト話モ進メテ居リマス、又是等ノ得難イ資材、或ハ勞力等ニ付キマシテ、重點主義ヲ執ルト云フコトノ心構モ、十分持ツテ居リマス、併シナガラ鑛山特ニ金屬山等ニ付キマシテハ、單純ナル重點主義、或ハ外カラ見タ所謂重點主義ト云フモノノ採用ガ困難ナ點ガアリマス、ソレ等ノ點モ十分考慮致シマス、今ノ長谷委員ノ御質問ノ趣旨ハ能ク諒承致シマシタカラ、十分サウ云フ點ニ付キマシテ注意ヲ致シマス

○長谷委員 其ノ次ニ是ト關聯シテ御尋ヲ致シタイノハ、山金ヲ掘ツタ方ガ宜イカ、砂金ヲ掘ツタ方ガ宜イカ、山金ヲ採ルノニ段々ト地下遠ク奥底ニ入ツテ行キマス、是ハ大シタ金ガ掛リマス、所ガ御承知ノ通り今日日本ノ登錄ニナツテ居ル所ノ砂金鑛區ハ三千以上ニナツテ居ルノデアリマス、

此ノ間「タッキリ」ノ話ガ出テ居リマシタガ、「タッキリ」ナドハ物ノ數デハナイ、所ガ此ノ砂金ノ採取ニ對シマシテハ、其ノ資材ニ於テモ調査ニ於テモ、ソレカラ勞働力ニ於テモ、貧鑛處理ニ於テモ、製鍊ニ於テモ、山金ト比較致シマシタナラバ、殆ド問題デナイ安價ナモノガアルノデアリマス、是ハ今日青年團ヲ動員シ、在郷軍人會ノ人達ヲ動員致シマシテ、一本ノ川ヲ平均十箇處位調ベサセマシタナラバ、大抵其ノ川カラ殆ド吾々ガ期待シナイ程ノ大キナ金額ノ金ヲ採ルコトガ出來ル、而モ先程私拜見致シマシタガ、砂金ノ試鍊一本當リ五圓ノ補助ガアル、サウスレバ此ノ五圓ノ補助ヲ青年團ヤ在郷軍人ノ人達ニ與ヘテ、川ヲ十箇處位拾ツタナラバ、大抵其ノ川ノ「ミーンバリュ」ガ出ル、而モ其ノ砂金ト云フモノガ極メテ有利ナル所ノ立場ニ日本ガアルノデアリマス、資材ハ足りナイ、勞働力ガ足りナイト喧嘩シテ居ルヨリ、日本ノ根本對策ヲ砂金ニ持ツテ行ツタラドウカ、吾々ハサウ思フノデアリマス、此ノ點ヲ承ツテ置キタイ

○小金政府委員 砂金ヲ目的トスル試鍊ニ付キマシテハ、雖ノ穴一本ニ付キ五圓ト云フ風ニ產金獎勵規則ニ書イテアリマス、ソコデ砂金ヲ採取スル者ガ只今ノヤウナ砂鑛權者ニ限ラレテ居リマス關係上、砂鑛業者ニ此ノ獎勵金ヲ交付致シマス、併シナガラ砂金ノ採取ガ非常ニ敏速デ有利アルト云フコトハ認メテ居リマス、只今御説明ニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、是亦實際個々ノ場合ニ付キマシテ、具體的安當ナ處置ヲ執リタイト存ジマス

○長谷委員 大變長クナリマシタ、アト一點デ終リマス、實ハ大藏當局ニ觀念ヲ入レタイト思ヒマシテ、先程朝鮮ト臺灣ガ帝國鑛業開發會社カラ「オミット」サレタコトヲ尋ネテ置キマシタガ、アノ點ハ其ノ後ドウナツテ居リマスカ、御説明ヲ願ヘタラ結構デアリマス

○小金政府委員 帝國鑛業開發株式會社ノ事業計畫並ニ其ノ經營振リニ付キマシテハ、昨年御審議ヲ得タ所デアリマスガ、其ノ際朝鮮ニ付キマシテハ、色々異ツタ事情モアリマスルカラ、別ニ何等カノ機關ヲ設ケテ之ヲ開發スル、臺灣ハ更ニ具體的ノ問題ガ起ツタ際ニ之ヲ協議スルト云フコトニナツテ居リマシテ、朝鮮ニ於キマシテハ、其ノ後銅山トカ其ノ他ノ鑛山ヲ開發スル爲ニ何カ民間ノ會社ヲ設立セシメテ、之ニ對シテ一定ノ配當ノ保證ヲスルト云フヤウナ建前デ、六分配當ノ保證カ何カラ、豫算デスカ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約カ何カデ、昭和十五年度ノ豫算ニ出テ居ル答デアリマス、ソレカラ内外地ヲ通ジテ一本建ニスルコトニ付キマシテハ、只今ノ所色色ナ關係デ、其ノ問題ニ對スル十分ナ檢討ガ出來テ居リマセヌ、場合ニ依ツテハ何トカシナケレバナラヌカト存ジマスガ、是ハ色々統治上ノ關係ナドガアリマシテ、私共ノ手ニ一應負ヘナイト云フ狀態デアリマス

○長谷委員 委員長ガ御聽キニナツタヤウニ、少シク物足りナイノデアリマス、其ノ點ハ商工省トシテハモウ少シ御考ヘ下サラナイト困ル、アナタノ方ガ強ク出ラレナイト、鑛業ノ分野ガ一本建ニナラナイデ、各官廳ガ一本建ニナラウ管ガアリマセヌ、モウ少シ基本的ニ色々分野ニ對シマシテモ研究ヲシテヤツテ、貫ヒタイト思ヒマス、今日

ハ私ノ爲ニ長イ間委員長各位ニ御聽キヲ願ヒマシテ、洵ニ恐縮デアリマシタ、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○櫻井委員長 次回ハ明五日後一時半ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時四十六分散會